

鹿央町文化財発掘調査報告書

# 天神免遺跡

平成 14 年度鹿本地区広域営農団地農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告

2004 年

熊本県鹿本郡鹿央町教育委員会

# 天神免遺跡

平成14年度鹿本地区広域営農団地農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告



## 序文

鹿央町は熊本県の北東、菊池川の中流域に位置し、広々とした畑作地帯がひらけた自然の幸に恵まれたところです。また先史、古代の遺跡が多数存在する文化財の豊かな地でもあります。とくに町の北部に位置する国指定史跡の岩原古墳群には築造当時の姿をほぼ完全に残し、優美な姿を誇る双子塚古墳があります。現在、岩原古墳群は菊池川流域（山鹿市・菊水町・菊鹿町・鹿央町）に設置された県立の歴史公園である「肥後古代の森（鹿央地区）」の指定をうけ、平成4年度には県立装飾古墳館が開館し毎年多くの人々が来館されています。岩原古墳群をはじめとする多数の遺跡は古来よりこの地に人々が暮らし続けてきた痕跡であり私達の祖先の姿を現在に語りかけてくれています。

この報告書は広域営農団地農道整備事業に伴い調査を実施した天神免遺跡の発掘調査記録です。本書が地域の文化財に対する理解と認識を深める一助となり、学術資料としてばかりでなく、学校教育や生涯学習の場で幅広く御利用いただければ幸いです。

最後になりましたが、発掘調査に際して多大な御協力をいただいた熊本県農政部、県立装飾古墳館、ならびに発掘作業、整理作業に従事していただいた関係各位に心から厚くお礼を申し上げます。

鹿央町教育委員会  
教育長 東 正治

## 例言

1. 本報告書は、熊本県鹿本郡鹿央町大字広 4394 - 1 番地に所在する天神免遺跡の発掘調査報告書である。
2. 調査は、広域営農団地農道整備事業に伴い、熊本県の予算を受け鹿央町教育委員会が主体となり熊本県立装飾古墳館の指導のもとに平成 14 年度に実施した。
3. 発掘調査は平成 15 年 1 月 6 日から平成 15 年 3 月 7 日まで、整理作業は平成 15 年 7 月 1 日から平成 16 年 3 月 5 日まで実施した。
4. 発掘調査は鹿央町教育委員会が実施し、測量、実測、写真撮影等の一連の記録業務は（有）遺跡整備計画に委託した。
5. 空中写真撮影は（有）スカイサーベイ九州に委託した。
6. 本報告書作成に伴う出土遺物実測・製図は（有）遺跡整備計画に委託し、遺構実測図の製図は丸山希郷が行った。
7. 遺物写真撮影は県立装飾古墳館池田朋生氏に依頼した。
8. 本報告書に掲載した遺構実測測量図、遺構実測図の縮尺は下に表示を行った。また遺物実測図は土器を 1/3、石器を 1/1 の縮尺で統一し、縮尺を変えたものについては図右下にスケールを表示した。
9. 出土資料中の土器は破片が多かったことから図上復元（反転図化）を多く採用し、残存状態については観察表にその項を設けて記した。
10. 本書で用いたレベルは海拔絶対高である。
11. 本書の編集・執筆は（有）遺跡整備計画の協力を受けて村田勉が担当した。
12. 本報告書に記載した出土遺物、図面等全ての記録資料は、鹿央町教育委員会に保管されている。

## 目次

|           |    |
|-----------|----|
| 第1章 はじめに  |    |
| 調査経緯      | 1  |
| 調査組織      | 1  |
| 第2章 位置と環境 |    |
| 遺跡の位置     | 2  |
| 周辺の遺跡     | 2  |
| 第3章 調査の概要 |    |
| 調査の経過     | 6  |
| 遺跡の概要     | 9  |
| 基本的層序     | 9  |
| 第4章 調査の成果 |    |
| 住居址       | 10 |
| 土壌        | 25 |
| 溝         | 28 |
| 第5章 まとめ   | 40 |

## 挿図目次

|                        |    |
|------------------------|----|
| 第1図 遺跡位置図              | 2  |
| 第2図 周辺遺跡分布図            | 4  |
| 第3図 遺構位置図              | 7  |
| 第4図 土層断面図              | 9  |
| 第5図 SH-1出土土器実測図        | 10 |
| 第6図 SH-1・2実測図          | 11 |
| 第7図 SH-2出土土器実測図        | 12 |
| 第8図 SH-3・4・7実測図        | 12 |
| 第9図 SH-3出土土器実測図        | 13 |
| 第10図 SH-5実測図           | 14 |
| 第11図 SH-5出土土器実測図       | 14 |
| 第12図 SH-6実測図           | 15 |
| 第13図 SH-6出土土器実測図       | 15 |
| 第14図 SH-7出土土器実測図       | 15 |
| 第15図 SH-8・9実測図         | 16 |
| 第16図 SH-8出土土器実測図       | 17 |
| 第17図 SH-9出土土器実測図       | 17 |
| 第18図 SH-13出土土器実測図      | 18 |
| 第19図 SH-13～15・17～20実測図 | 19 |

|      |                |    |
|------|----------------|----|
| 第20图 | SH-14 出土土器実測図  | 21 |
| 第21图 | SH-14 出土土器実測図  | 22 |
| 第22图 | SH-15 出土土器実測図  | 23 |
| 第23图 | SH-17 出土土器実測図  | 23 |
| 第24图 | SH-18 出土土器実測図  | 24 |
| 第25图 | SH-19 出土土器実測図  | 25 |
| 第26图 | SK-1・SX-1~5実測図 | 27 |
| 第27图 | SX-6~10実測図     | 29 |
| 第28图 | 土壇出土土器実測図      | 30 |
| 第29图 | 出土石器実測図 (1)    | 31 |
| 第30图 | 出土石器実測図 (2)    | 32 |
| 第31图 | 出土石器実測図 (3)    | 33 |
| 第31图 | 出土石器実測図 (4)    | 34 |

## 図版目次

|     |    |
|-----|----|
| 図版1 | 43 |
| 図版2 | 44 |
| 図版3 | 45 |
| 図版4 | 46 |
| 図版5 | 47 |
| 図版6 | 48 |
| 図版7 | 49 |
| 図版8 | 50 |

## 表目次

|     |         |    |
|-----|---------|----|
| 第1表 | 周辺遺跡地名表 | 5  |
| 第2表 | 出土土器観察表 | 35 |
| 第3表 | 出土石器観察表 | 38 |



## 第1章 序説

### 調査の経緯

天神免遺跡は平成10年度に鹿本地区広域営農団地農道整備事業の施行に伴い、熊本県農政部の委託で鹿央町教育委員会が調査を実施した。この結果は鹿央町文化財発掘調査報告書「広寺の上・向原・天神免遺跡」としてまとめ、刊行した。当時の調査では多数の甕棺墓や住居址などが確認されている。

今年度の調査は同事業において平成10年度調査区に隣接する724㎡があらたに工事予定地となったため熊本県農政部の委託で鹿央町教育委員会が実施した。

### 調査の組織

調査主体 鹿央町教育委員会

調査責任者 鹿央町教育委員会

教育長 東 正治

調査事務体制 鹿央町教育委員会

事務局長 井出昌人

係長 森 宏一

社会教育指導員 村田 勉

### 調査指導・助言

熊本県教育庁文化課 木崎康弘（現熊本県立装飾古墳館主任学芸員）

熊本県立装飾古墳館 学芸課長 江本 直（現副館長）

山鹿市立博物館 館長 隈 昭志

副館長 中村幸史郎（現首席研究員）

学芸員 山口健剛

山鹿市出土文化財管理センター 嘱託 前田軍治

### 調査協力者

別府大学文学部史学科助教授 坂田邦洋

玉名市立博物館学芸員 兵谷有利

鹿児島県隼人町教育委員会 前田奈緒

熊本県立玉名工業高校教諭 赤瀬 恵

### 調査作業員

荒木夏恵・江藤昭代・城 博子・藤本仁美・木村天授子・後藤済子・坂上瑞子・山下公子

中村富士代・村上スミエ・西村登美子・江藤恵実子・城 弥生・輪内タツ子・上田 満

五嶋竜也・丸山農聡・和田賢一・中村幸一郎

### 整理作業員

桑原まきこ・丸山きよ子・丸山希郷・五嶋竜也

### 調査・整理作業補助業務

（有）遺跡整備計画

## 第2章 位置と環境

### 遺跡の位置

鹿央町は熊本県の西北部に位置する。県北部を流れる菊池川の中流域地帯にあたり、町の中央部に岩原川、東部に千田川、南部に江田川といった菊池川の支流が流れている。これらの小河川は町の中央部に広がる台地を浸食し小規模な谷をいくつも形成している。西部には標高 311.8 m の米野山がありその周囲には米野低山地が広がっている。

天神免遺跡は町のほぼ中央にある向原台地上の北端に位置し、台地の東のへりに沿って細長くのびる下原集落の北西方向に位置する。台地の北東部を流れる岩原川は台地を侵食し小規模な谷を形成している。そのために遺跡と川面までの比高差は 20 m に及んでいる。



第1図 遺跡位置図 (S = 1/5,000)

### 周辺の遺跡

縄文時代以前にあたる遺跡の発掘調査例はないが、遺物は各地で採集されている。駄の原遺跡からは縄文時代後晩期の土器とともに多量の石鏃、黒曜石の原石や碎片が採集されている。多量の石鏃や

原石の存在からみて、この地で石器製作が行われていた可能性がある。また現在の庁舎付近一帯からは縄文早期の押型文土器をはじめとして縄文時代早期から晩期までの各形式の土器が採集されている。その他には削器、剥片尖頭器、細石刃などの石器や黒曜石の剥片も採集されている。

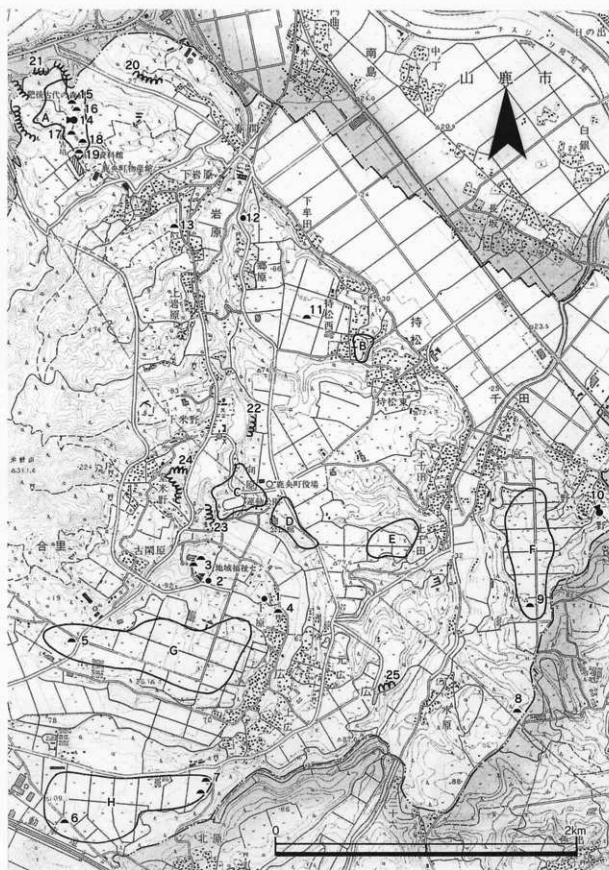
弥生時代の遺跡は天神免遺跡が位置する向原台地とその南方500mに隣接する吉井原台地、岩原川を隔てて両台地を囲むように広がる郷原台地、その東の千田川を隔てて広がる宮原台地の各台地上にみられる。向原台地上には向原遺跡と今年度調査した天神免遺跡が位置する。向原遺跡では弥生時代後期の住居址5基を検出し、同台地上に位置する集落の端部として捉えられている。また縄文時代後晩期の土器も多数出土している。天神免遺跡の過去の調査では銅剣2点が出土しているが、青銅器はその他に下米野から中広銅鉾が出土している。ただしこれは江戸時代の文献に記載があるのみで現存していない。吉井原台地上の吉井原遺跡は弥生中期頃の甕棺135基、土墳墓または木棺墓と考えられるもの80基以上を検出した広大な墓域である。郷原台地上では諏訪原遺跡から甕棺1基が出土している。また畑の掘削中に甕棺1基が出土した例もある。宮原台地上には中尾遺跡と早馬塚遺跡が位置する。中尾遺跡では弥生中期頃の甕棺10基、木棺墓43基を検出し、早馬塚遺跡でも弥生中期頃の甕棺が54基、木棺墓が11基出土している。両遺跡は隣接しており一連の墓域と考えられる。以上のように各台地上には甕棺、木棺墓、土墳墓といった墓域が数多く存在している。それに比べ集落の痕跡は少なく、住居址が検出されたのは向原遺跡と今年度調査した天神免遺跡のみである。しかし各台地上に広がる墓域からは埋葬されている人々の集落の存在を想定でき、今後の調査が期待される。

古墳時代の遺跡としては国指定史跡の岩原古墳群が町の北部に位置している。全長102mに及ぶ前方後円墳の双子塚を主墳とし周囲には古墳時代中期から後期までの円墳が多数点在している。また古墳時代も弥生時代と同様に各台地上に遺跡が存在する。向原台地上には双塚古墳と下原古墳が位置する。双塚古墳は2基の円墳である。1号墳は小口積みの横穴式石室を主体部にもつ古墳時代後期の円墳である。2号墳は周溝のみ確認されている。下原古墳も円墳である。ほぼ原形を保ち未調査である。吉井原台地上の堤古墳は吉井原遺跡上に立地する2基の円墳である。1号墳は横穴式石室を主体部にもつ円墳である。2号墳も円墳だが墳丘を消失している。両者ともに古墳時代後期に位置付けられる。郷原台地上には古墳時代の遺跡が多く存在する。持松塚原古墳では幅1.8mの巨大な家形石棺の一部が確認され、棺蓋には線刻文の装飾がある。持松中屋敷遺跡からは家形石棺3基が出土した。これらは5世紀後半から6世紀初頭に位置付けられる。浦大間遺跡からは7基の方形周溝墓を検出している。埋葬施設の主体部には2基または1基の家形石棺をもち、4世紀から5世紀に位置付けられる。その他にも周辺からは家形石棺4基、舟形石棺1基が出土している。諏訪原遺跡からは主体部に家型石棺をもつ方形周溝墓が1基検出されている。周辺にはこれに類した遺構が多数埋没しており、調査された1基はその群中のひとつにすぎない。久保原遺跡から出土した石棺には鉄製鍔先1点、直刀1点、珠文鏡1点などが埋葬されていた。芦ヶ迫古墳は円墳である。駄の原古墳は墳丘を失い横穴式石室の石材と考えられる巨石が残る。宮原台地上には久野古墳が位置している。「鹿本郡誌」に「瓢形古墳」と記載があり前方後円墳と考えられるが現在は墓地となっている。また町内には横穴墓も数多く開口している。桜の上横穴群、岩原横穴群では複室構造の横穴、彩色や線刻文がある横穴が確認されている。また、下米野横穴群でも彩色や線刻文が確認されている。

#### 参考文献

鹿央町史編纂室『鹿央町史』1989年

鹿央町教育委員会『広寺の上・向原・天神免遺跡』2001年



第2図 周辺遺跡分布図 (S = 1/25,000)

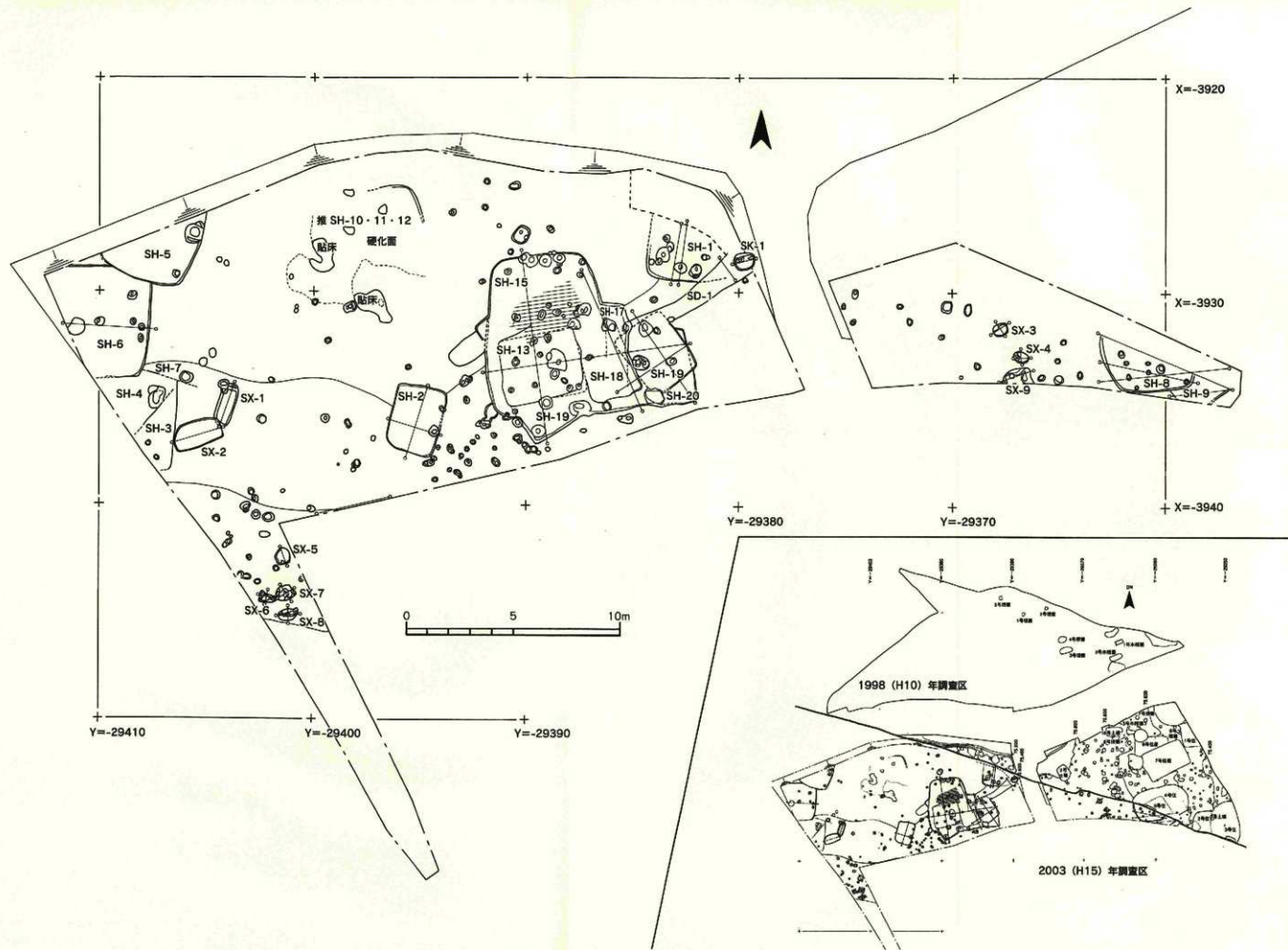
第1表 周辺遺跡地名表

| 番号 | 遺跡名      | 種別        | 時期        | 備考                  |
|----|----------|-----------|-----------|---------------------|
| A  | 岩原台地遺跡   |           | 縄文～古墳     |                     |
| B  | 持松中屋敷古墳群 |           | 古墳        |                     |
| C  | 向原遺跡     | 集落址・甕棺群   | 弥生中期～古墳   | 家形石棺                |
| D  | 諏訪原遺跡    | 甕棺・方形周溝墓  | 古墳        |                     |
| E  | 浦大間遺跡    | 方形周溝墓・石棺群 | 古墳中期～後期初頭 | 家形石棺、舟形石棺、素環頭大刀     |
| F  | 中尾・早馬塚遺跡 | 甕棺・木棺墓群   | 弥生中期      | 甕棺 64 基             |
| G  | 吉井原遺跡    | 甕棺群・石棺    | 弥生中期～古墳   | 甕棺 135 基            |
| H  | 駄の原遺跡    | 石器製作址?    | 縄文後期～晩期   |                     |
| I  | 天神免遺跡    | 集落址・甕棺群   | 弥生前期～後期   | 細形銅剣出土 (昭和 52 年度調査) |
| 2  | 向原遺跡     | 集落址       | 弥生後期      |                     |
| 3  | 双塚古墳     | 円墳        | 古墳後期      | 円墳 2 基、横穴式石室        |
| 4  | 下原古墳     | 円墳        | 古墳後期      |                     |
| 5  | 堤古墳      | 円墳        | 古墳後期      | 円墳 2 基              |
| 6  | 駄の原古墳    | 円墳?       | 古墳後期      | 横穴式石室?              |
| 7  | 芹ヶ迫古墳    | 円墳        | 古墳        | 円墳 2 基              |
| 8  | 中尾古墳     |           | 古墳?       |                     |
| 9  | 早馬塚古墳    | 円墳        | 古墳        |                     |
| 10 | 久野古墳     | 前方後円墳     | 古墳        |                     |
| 11 | 持松塚原古墳   | 円墳        | 古墳        | 家形石棺、棺蓋に緯刻文         |
| 12 | 久保原遺跡    | 石棺        | 古墳後期      | 鉄製鍬先、直刀、珠文鏡         |
| 13 | 鬼塚古墳     | 円墳        | 古墳        | 箱式石棺、珠文鏡            |
| 14 | 岩原二子塚古墳  | 岩原古墳群     | 古墳中期～後期初頭 | 前方後円墳               |
| 15 | 狐塚古墳     |           | 古墳後期      | 横穴式石室               |
| 16 | 下原古墳     |           | 古墳中期～後期初頭 | 円墳                  |
| 17 | 塚原古墳     |           | 古墳中期～後期初頭 |                     |
| 18 | 馬不向古墳群   |           | 古墳中期～後期初頭 | 円墳 3 基              |
| 19 | 寒原第古墳    |           | 古墳中期～後期初頭 | 家型石棺、人骨 3 体、鉄剣      |
| 20 | 板の上横穴群   | 横穴墓       | 古墳終末期     | 複室、彩色・緯刻文、全 23 基    |
| 21 | 岩原横穴群    | 横穴墓       | 古墳        | 複室、彩色・緯刻文、全 131 基   |
| 22 | 日ノ口横穴    | 横穴墓       | 古墳終末期     |                     |
| 23 | 向原横穴群    | 横穴墓       | 古墳終末期     | 全 6 基               |
| 24 | 下米野横穴群   | 横穴墓       | 古墳終末期     | 彩色・緯刻文、全 53 基以上     |
| 25 | 城ノ前横穴    | 横穴墓       | 古墳終末期     |                     |

### 第3章 調査の概要

#### 調査の経過

- 1月6日 表土剥ぎ開始。バックフォーによって旧耕作土を掘り下げ。
- 7日 表土剥ぎ終了。
- 8日 作業員を導入し浮土を処理、耕作土直下層上面を平坦に削平し遺構プランの確認を行う。
- 11日 前回調査区に隣接する東側表土剥ぎを開始。他の調査区と同様に遺構プランの確認を行う。
- 14日 最東部で重複する竪穴住居址2基を確認。また、土壇1基と大小の柱穴も確認。
- 15日 中央部で5～6基以上重複する住居址を確認。
- 16日 県試験溝内を排土したところ地山ローム層上で住居跡のコーナーと炉址を1基確認。
- 18日 基準点測量、水準点測量、グリッド設定を終了。
- 22日 包含層上面の一括資料取上。M41～43グリッドにかけて住居址、土壇の切り合いが激しくプラン確認が困難である。
- 24日 M-42・43、N-42の遺構切り合い確認作業。
- 28日 M-41の住居址の切り合いが確認できたので掘り下げ開始。SD-2・3清掃完了。
- 31日 SK-2・3完掘。
- 2月1日 M-42・43内の6～7基の住居址と土壇が複雑に切り合い平面での確認が難しいため、明確な壁に幅50cmでスリットを入れ、床面高の違いから1基単位を確認する作業を開始。
- 5日 県立装飾古墳館江本氏より指導を受ける。
- 7日 グリッドを細分(1mメッシュ)し、検出遺物を取り上げた後、遺構平面の確認作業を再開。
- 10日 山鹿市立博物館中村副館長、江本氏より指導を受ける。
- 12日 調査区東側三角地帯の遺構確認作業。
- 15日 SH-1完掘。県文化課木崎氏より指導を受ける。
- 17日 全区柱穴群を検出
- 21日 M-42・43の住居址の切り合いを確認。
- 23日 SH-13～21の平面実測。玉名市教育委員会兵谷氏、別府大学坂田助教授、玉名工業高校赤瀬教諭、中村氏、江本氏とともに現地検討をおこなった。
- 26日 SH-8の床面を精査。7～8回繰り返し貼り床されていることを確認。
- 29日 全体を完掘、清掃。午後より空掘。
- 3月2日 遺構位置図補足。
- 5日 硬化面下層の掘方面の確認。
- 8日 埋め戻し。



第3図 遺構位置図 (S = 1/200)

## 遺跡の概要

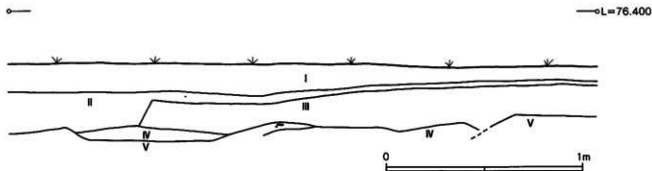
天神免遺跡は過去に二度の調査例がある。一度目は昭和52年度に圃場整備事業にともなう調査で県文化課によって実施された。二度目は平成10年度に広域営農団地農道整備事業にともなう調査で町教育委員会が実施した。昭和52年度の調査では台地端に添った一帯が調査された。遺構は弥生前期から後期の木棺墓や甕棺墓を50基以上検出し、東西約130m、南北200mに及ぶ範囲の墓域が確認された。そのうちの弥生前期の木棺墓から細形銅剣の先端の小破片が出土した。また細形銅剣は遺跡付近の畑の耕作中にも1点採集されている。住居址は検出されなかったが、墓域に囲まれた台地上で検出した柱穴群や焼土は、そこが居住地域であったことを示唆した。平成10年度調査では今年度調査区の北側に隣接する地点を調査した。遺構は弥生中期から後期の甕棺墓8基、木棺墓3基、住居址7基を検出した。遺跡が北方向に拡大していること、52年度調査で示唆された居住地域が向原遺跡を含めて台地上に広がることが確認できた。

今年度調査では前回調査区と農道1本を隔てて南側に隣接する地点が調査対象区となった。調査区画は平成10年度調査時に設定した区画を踏襲し延長して設定した。さらに住居址の切り合いが激しい調査区中央部は1×1m区画に細分割し、南西コーナーから北西コーナーまでの10区画をNo.1からNo.10と設定し、No.11以降は並行式で設定して遺物を取り上げた。また調査区中央部の住居址は重複が複雑で遺構の残存が浅く前後関係を平面で確認することは困難であった。そのため住居址の前後関係は各住居址の床面のレベル差で把握した。検出された遺構は住居址20基、土壇墓3基、不明土壇が7基であった。

## 基本的層序

天神免遺跡の東側は旧宅地跡、西側は休耕畑、北側は養蚕小屋跡のために自然堆積を保つ標準的土層の観察が可能な地点はなかった。測図した調査区北側の壁面は工事計画の道路幅杭に近い位置で、調査区外の一帯は休耕畑である。I層からV層までを確認できた。以下に示す。

- I層：耕作土である。真土で柔らかい。厚さ10～14cm。
- II層：耕作土直下でやや黄褐色を帯びた盤状土層である。硬化はしていない。
- III層：旧耕作土である。
- IV層：遺物包含層である。上面は全て耕作により欠失している。濃茶褐色土。
- V層：ローム層で地盤である。赤褐色粘質土。



第4図 土層断面図 (S = 1/20)

## 第4章 調査の成果

### 竪穴住居址

今年度の調査では20基の住居址を検出した。それぞれの遺構は切り合いや調査区外にかかるために明確なプランが確認できたものは1基しかなかった。

#### SH-1

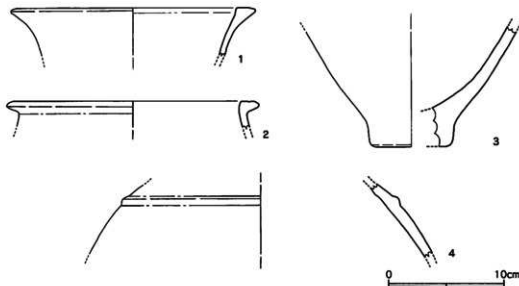
調査区中央部のM-43グリッドにて検出した。住居址の南側に位置するSD-1に一部切られる。住居址の北1/2は前回調査区に含まれるが、植林されていたため前回調査では住居址プランは検出されていない。他の住居址に比べ床面まで深く遺存していた。

平面形は隅丸方形または長方形を呈すると考えられる。残存する壁からみて主軸は東西か南北に近い向きになる。

床面は地山ローム層上に外部から土を持ち込んで貼り床が形成されている。貼り床面はよく踏みしめられており硬化度が高い。西側のビット検出時に床面の下層に新たな硬化面が確認された。このことから床面は2回以上の貼り床が行われたと考えられる。

床面上では合計9個のビットを検出したが明確な柱穴は確認できなかった。

住居址内からの出土遺物は少なく、弥生土器の甕や壺の破片、磨製石鏃1点、打製石斧1点を出土した。出土遺物からこの住居址は弥生時代中期後半に位置付けられる。



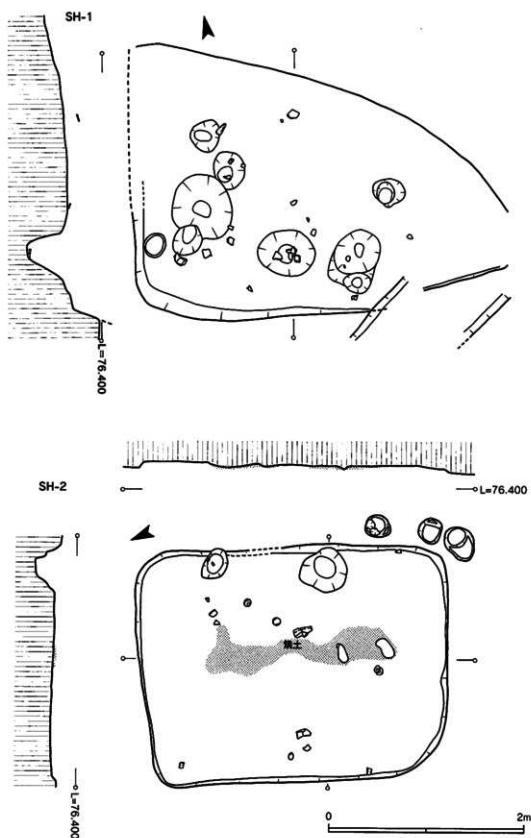
第5図 SH-1出土土器実測図 (S = 1/3)

#### SH-2

N-42グリッドにて検出した。今年度調査区で唯一切り合いがない住居跡である。地山ローム層に掘り込まれている。上面が削平を受けているために床面までの遺存状態が10cm以下と浅い。

平面形は隅丸長方形を呈する。主軸は南北方向をとる。長軸が320cm、短軸が240cmと他の住居址に比べ小さい。

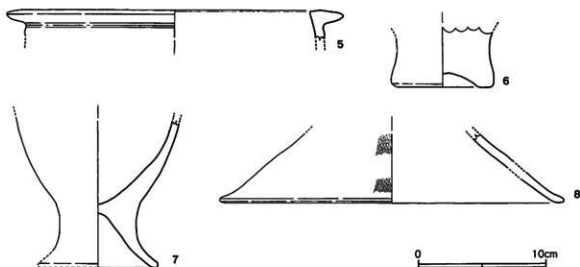
床面はローム層上にあり硬化して検出された。内部埋土は茶褐色で極めて堅い。床面の中央部では焼土の貼り付きと炭化物、灰などが検出された。西壁に貯蔵穴とみられる掘り込みが2基あり、内部



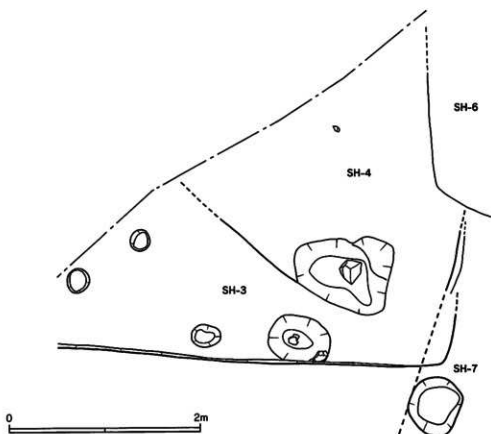
第6図 SH-1・2実測図 (S = 1/40)

からは黒曜石の剥片が少量出土した。床面に柱穴は検出されなかったが、東南コーナーの外側に位置するピットは住居址に関連するものかもしれない。

住居址内からの出土遺物は少なく、甕の破片、石庖丁1点が出土した。今年度調査区では唯一の弥生時代後期に位置付けられる住居址である。



第7図 SH-2出土土器実測図 (S = 1/3)

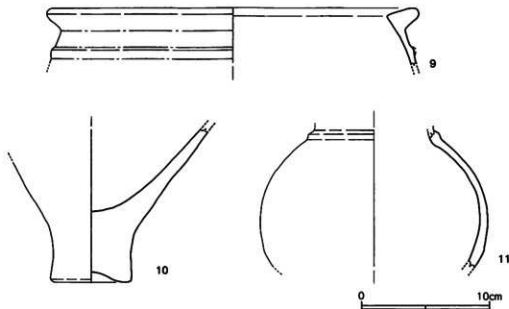


第8図 SH-3・4・7実測図 (S = 1/40)

### SH-3

調査区西端のN-41グリッドにて検出した。SH-4とSH-7に切られる。西側半分は調査区外のために確認できなかった。上面が削平をうけているために壁の高さが4~6cmと低い。

平面形は隅丸方形を呈すると考えられる。残存する壁からみて主軸は東西か南北に近い向きになる。床面では合計3個のピットを検出したが明確な柱穴は確認できなかった。東壁添いに貯蔵穴をもつ。住居址内からの出土遺物は少ない。貯蔵穴内から壺、甕とみられる土器片が出土した。



第9図 SH-3出土土器実測図 (S = 1/3)

### SH-4

N-41グリッドにて検出。SH-6とSH-7に切られる。SH-3を切っている。大部分が調査区外にかかるためにプラン全体の確認はできなかった。

わずかに残る壁面に接して貯蔵穴を検出した。床面はよく硬化していた。床面にピットは検出できなかった。貼り床を掘り下げて掘方面を確認したところ起伏に富んでいた。

住居址内からの出土遺物は少なかった。貯蔵穴から砥石が出土した。東壁直下で2~3cm程度の円礫が8~9個点在していた。

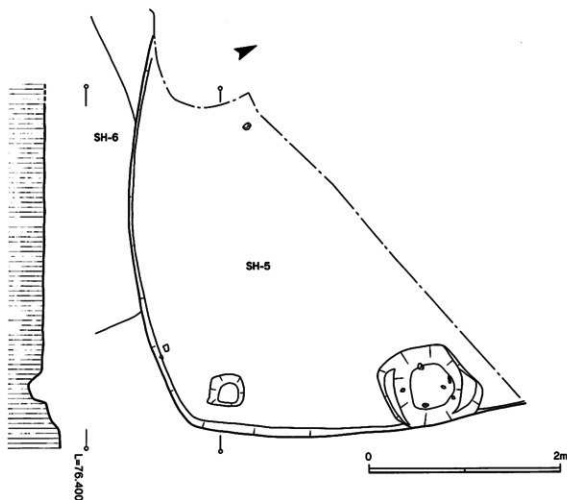
### SH-5

調査区北西M-41グリッドにて検出した。SH-6を切っている。北側2/3は調査区外にのびるため南東コーナーしか確認できなかった。上面が削平を受けているために壁の高さが10cm以下と低い。

平面形は隅丸方形または長方形を呈すると考えられる。

床面には明確な硬化面が全体に広がっている。床面は他の住居址と同様に貼り床によって形成されている。東壁に貯蔵穴をもつ。貯蔵穴の内部から焼土を検出した。南東コーナーに柱穴1個を確認した。床面の一部に炭化物の貼り付きがみられる。

住居址内からの出土遺物は少なかった。甕の破片、石刃が出土した。



第10図 SH-5実測図 (S = 1/40)



第11図 SH-5出土土器実測図 (S = 1/3)

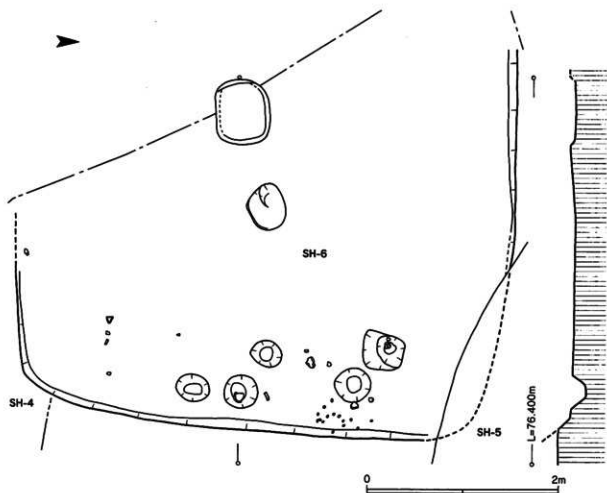
#### SH-6

調査区北西端M-40・41、N-40・41グリッドの境界にて検出した。SH-5に切られる。SH-4とSH-7を切っている。西側約1/2が調査区外のため確認できなかった。上面が削平をうけているために壁の高さは10～20cmと低い。

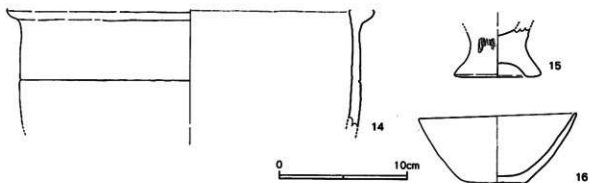
平面形は隅丸方形または長方形を呈すると考えられる。

床面は貼り床によって形成されており、よく硬化している。貼り床は数回繰り返され、それぞれが生活面として使用されている。床面上の中央部から炉址を検出した。炉の堀り込みは4～5cmあるが、竪穴そのものの掘り込みは炉址よりもさらに低くいたために、床直上で火がたかれていたと考えられる。他の住居址でもこの傾向が強い。床面の東壁側に4個のピットを検出しているが主柱については確定できない。

住居址内からの出土遺物は少ない。ピット内から鉢と磨石の両者が合わさって出土した。東壁に接して約1mの範囲内で2～3cmの河原石が密集していた。投石としては小さく用途は不明である。



第12図 SH-6実測図 (S = 1/40)



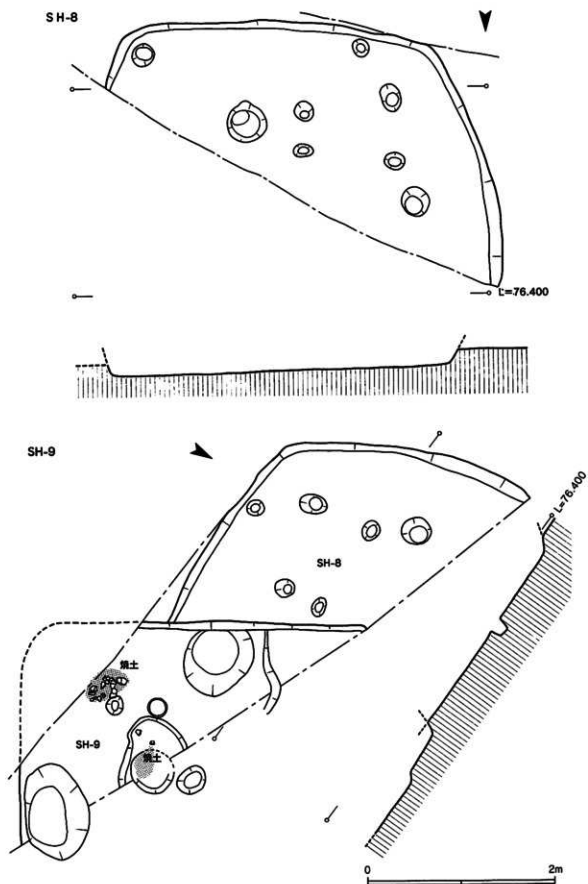
第13図 SH-6出土土器実測図 (S = 1/3)

#### SH-7

調査区西側N-41グリッドにて検出した。SH-6に切られる。SH-3とSH-4を切っている。大部分が削平をうけているため遺存状態が悪い。壁の一部と貯蔵穴のみが確認できた。



第14図 SH-7出土土器実測図 (S = 1/3)



第 15 図 SH-8・9実測図 (S = 1/40)

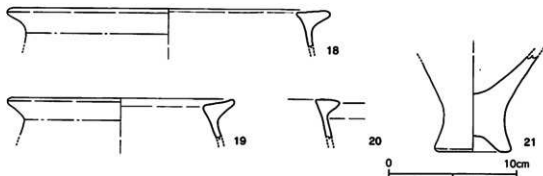
# SH-8

調査区東側N-45グリッドにて検出した。遺構の北側は前回調査区である。SH-9を切っている。平面形は楕円形状を呈すると考えられる。

床面は貼り床によって形成されている。極めて良好な硬化面をもつ。地山面まで掘り下げてすべての貼り床を確認したところ、計6回にわたって貼り床が繰り返されていた。地山の直上貼り床面が最初の生活面と考えられる。

ピットは西壁に沿って4個、中央に3個、東南コーナーに1個検出した。

住居址内からの出土遺物は少ない。貼り床の間から弥生土器片が数点出土した。



第16図 SH-8出土土器実測図 (S = 1/3)

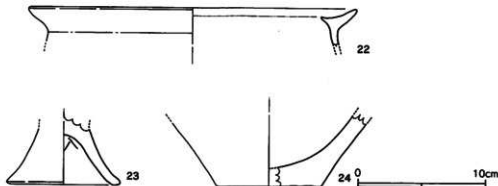
# SH-9

調査区東端N-46グリッドにて検出した。プランの北側は前回調査で一部を検出している。南側は調査区外で確認できなかった。SH-8に切られる。

平面形は隅丸方形を呈すると考えられる。

床面は貼り床によって形成されている。貼り床は3回以上繰り返されており、それぞれの床面は硬化している。床面上の中央部から炉址を検出した。炉址の南側で床密着の土器群を検出したが、炉址はこの1～2層上の貼り床面において検出した。炉跡は床面に対して掘り込まれているのではなく、初めは床直上で火がたかれていた可能性が強い。貼り床を重ねていく中で掘り込み状の形態になったと考えられる。炉址内部から焼土や炭化物を検出した。貯蔵穴のような大きな土嚢を2基検出した。

住居址内からの出土遺物は少ない。床密着で出土した土器片群は接合可能な資料だったが状態が悪く接合できなかった。



第17図 SH-9出土土器実測図 (S = 1/3)

# SH-10・11・12

大部分が削平をうけているために遺構のプランは確認できなかったが、硬化面と貼り床の一部が確認できた。検出した硬化面の広がりや貼り床の一部から3基以上の存在が考えられたためSH-10～12の3基を数えた。

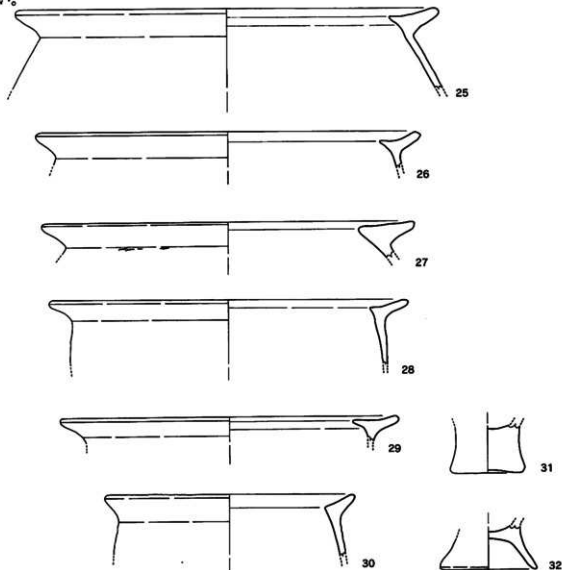
# SH-13

調査区中央のN-42・43グリッドにて検出した。SH-14、SH-15、SH-18を切っている。住居址の北壁部分は試掘トレンチにかかるために検出できなかった。

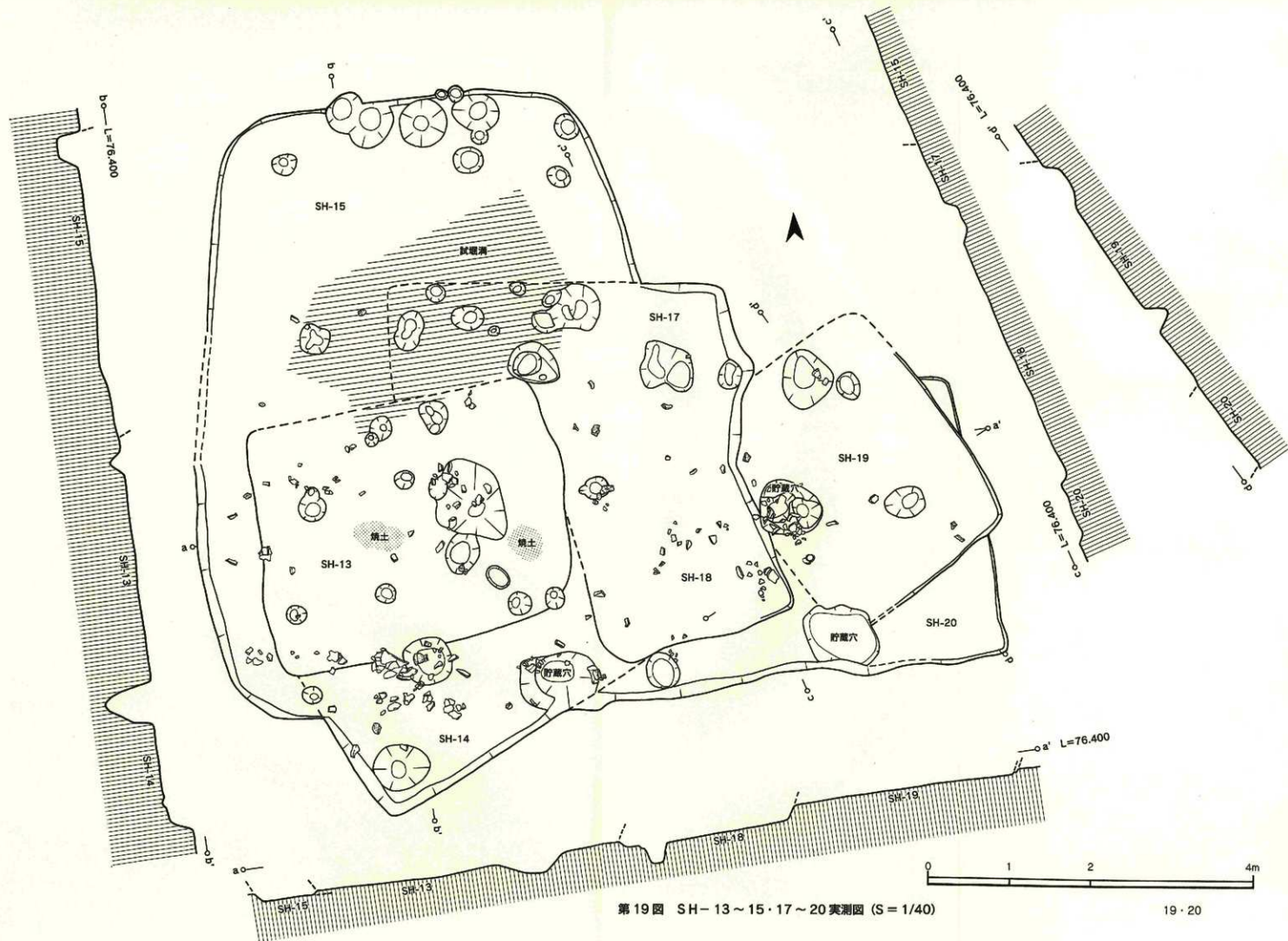
平面形は隅丸方形を呈する。長軸は380cm、短軸は約300cmである。住居址の中央部と東側に焼土の貼り付きがあり、かなり焼けて硬化している。この焼土の間にあるピット内からは炭化物の細片を検出した。

床面上からは9基のピットを検出したが住居址に伴う主柱穴は確認できなかった。

遺物は甕の破片が数点出土した。攪乱をうけているために住居址に並行する時期であるかの特定はできない。



第18図 SH-13出土土器実測図 (S=1/3)



第19図 SH-13~15・17~20実測図 (S=1/40)

# SH - 14

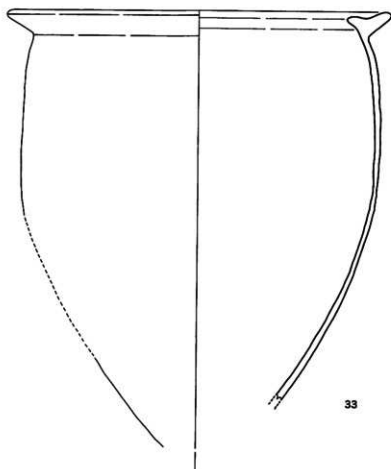
調査区中央のN-42・43グリッドにて検出した。SH-13、SH-18に切られる。SH-15との前後関係は床面のレベルからは確定できなかった。他の住居址との重複のために南西コーナーの一部しか確認できなかった。

平面形は隅丸方形または長方形を呈すると考えられる。

南壁面に添う落ち込みは貯蔵穴と考えられる。またこのほか西壁に沿う形で小型のピットが1基、南西コーナーに1基、西壁からやや東に位置する床上で1基検出されている。主柱穴に関しては不明である。

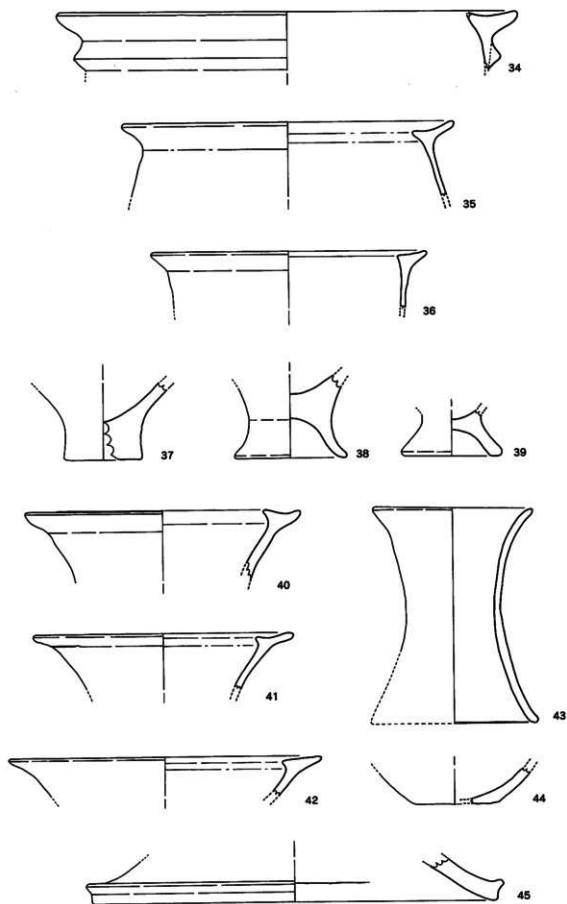
5層の貼り床を確認した。1～2層間で磨製石鏃が出土した。

住居址内からの出土遺物は他の住居址と比べて多い。甕、壺、高坏、器台、筒型器台、磨製石鏃が出土した。ただし、この住居址は緩やかに傾斜する台地の落ち際に位置しているため遺物のなかには流れ込んできたものもあると考えられる。筒型器台は底部の破片のみで接合資料がなくこれも他からの流れ込みの可能性が高い。出土遺物から弥生中期に位置付けられる。



33

第20図 SH-14出土土器実測図 (S=1/3)



第21图 SH-14出土土器实测图 (S=1/3)

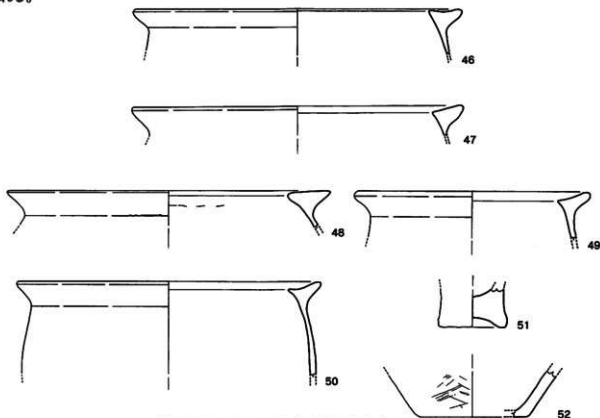
# SH-15

調査区中央のN-42グリッドにて検出した。SH-13に切られる。SH-15とSH-16は当初別個に数えたが、床面のレベル差がみられないため1基として考えた。住居址の大きさは長軸が約740cm、短軸が約540cmとなる。

平面形は隅丸長方形を呈する。

床面上で検出したピットはいずれも住居址に伴うものか不明である。北壁に添って検出した掘り込みは貯蔵穴と考えられる。

住居址内からの出土遺物は少ない。甕の破片が数点出土した。出土遺物から弥生中期に位置付けられる。



第22図 SH-15 出土土器実測 (S = 1/3)

# SH-17

調査区中央のN-43グリッドにて検出した。北東コーナーのみを検出した。SH-19を切っている。SH-18との前後関係は床面のレベル差からは確定できない。

平面形は隅丸方形または長方形を呈するとみられる。

住居址内からの出土遺物は少ない。甕、高杯の破片が出土した。



第23図 SH-17 出土土器実測図 (S = 1/3)

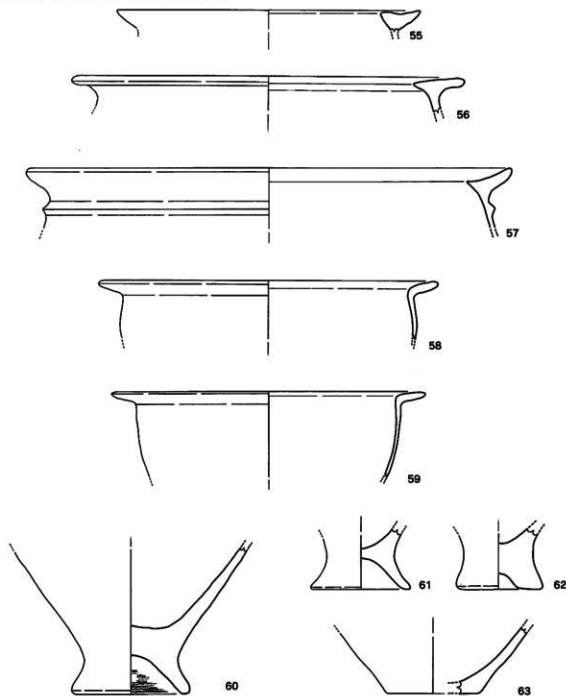
# SH-18

N-43 グリッドにて検出した。南東コーナーのみを検出した。SH-19、SH-20 を切っている。SH-17 との前後関係は床面のレベル差からは確定できない。検出された部分は東壁の一部と南東コーナーのみである。

平面形は隅丸方形または長方形を呈すると考えられる。

床上からピットが1基検出されたほかには遺構はみられなかった。

住居址内からは甕、壺の破片が出土した。



第24図 SH-18 出土土器実測図 (S = 1/3)

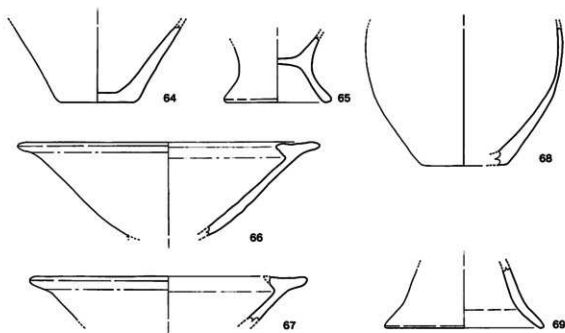
## SH-19

N-43 グリッドにて検出した。南東コーナーを検出した。SH-20 を切っており、SH-18 と SD-1 に切られる。

平面形は隅丸長方形を呈すると考えられる。長軸は約 320cm、短軸は約 260cm である。

西壁に添って貯蔵穴を検出した。性格不明のピット 3 基を検出したが、主柱穴は不明である。

住居址内から甕、壺、高坏の破片が数点出土した。



第 25 図 SH-19 出土土器実測図 (S = 1/3)

## SH-20

N-43 グリッドにて検出した。SH-18、SH-19 に切られる。南東コーナーと、わずかに北東コーナーを検出した。また、東壁の大部分と南壁も検出できた。住居の大きさは明確にはわからないが、長軸は残存する部分で約 5 m 以上あり本来はより長かったものと思われる。短軸は約 350cm である。

平面形は、検出されたコーナーから隅丸長方形を呈すると推定される。

床上では、南壁に沿って貯蔵穴が検出されており、残存するプランで最も西南寄りの部分では性格不明のピットが 1 基検出されている。この住居址に関しても主柱穴については不明であるといえる。

住居址内からの出土遺物は、図化できるものはなかったが甕の破片が数点出土している。

## 土壌

今年度の調査では 11 基の土壌を検出した。

## SK-1

M-43・44 グリッド境界にて検出した。

近年の遺構と考えられる SD-1 によって攪乱を受けている。また北に位置する SH-1 の堀方に

より攪乱された可能性もあるが前後関係は明確ではない。この土壌は周辺の調査経緯からみて甕棺の土壌と考えられるが遺構の残りが浅く断定はできない。内部埋土は赤褐色粘質土、褐色粘質土の他、炭化物片を多く含む。

主軸は東西方向になると考えられる。床面に12～13度の傾きがある。

埋土中より甕棺の破片、弥生土器の細片、小児甕棺の蓋に利用される鉢口縁らしい破片が残っているが、いずれも埋土の粘性に同化してまろくなっており、表面は器面荒れている。

#### SX-1

N-41 グリッドにて3号住居址の東側に隣接して検出した。上面が耕作その他で大きく削平され、全体の遺存状況は悪い。

SX-2によってコーナーの一部が切られる。内部埋土は比較的硬質の茶褐色土である。北側に幅10cm程のテラス状の高まりが平坦に検出され木棺墓になると思われたが、床面上では板を組んだ形跡はみられない。床面もやや凹凸があり木棺墓としては説得力に欠ける。北側に造り出した様な窪みがあることから単純な土壌墓であった可能性も考えられる。

埋土中から弥生中期の土器片を検出した。

#### SX-2

M-41 グリッドにて検出した。上面が削平をうけており床面までの残存状況が約7cm前後と浅い。

SX-1を切っている。内部埋土は比較的硬質の茶褐色土。土壌墓または木棺墓と考えられたが残存状況が浅く、床面も平坦で墓の性格は弱い。埋土中から弥生土器の破片がわずかに出土した。

#### SX-3

N-45 グリッドにて検出した。上面が削平をうけており床面までの残存状況が約5～6cmと浅い。

内部埋土はやや粘性があり、焼土、炭化物を多く含む。

床面では焼土と炭化物の貼り付きを検出した。上面にあった竪穴住居址が削平をうけて炉址のみが残存した可能性もあるが性格は不明である。

#### SX-4

N-45 グリッドにて検出した。床面までの遺存は2～3cmで極めて浅い。

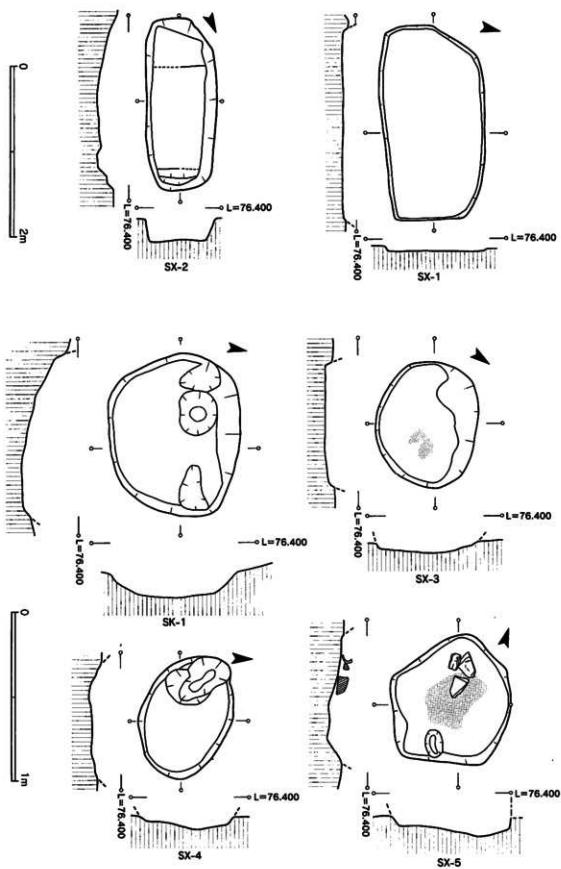
内部埋土は他の土壌埋土と同様に新しい時期のものではない。性格は不明である。

#### SX-5

O-41 グリッドにて検出した。SX-5、SX-6、SX-7、SX-8は狭い範囲の中に位置している。上面は耕作などで攪乱・削平をうけている。

平面形は不整円、五角形に近い。床面の中央部から焼土の貼り付きを検出した。この部分は極めて固く焼き上がっている。竪穴住居址が削平をうけて炉址のみが残ったもの、または竪穴住居の屋外炉址としても考えられる。近辺のSH-2、SH-3、SH-4、SH-7も削平され壁面の残りがわずかであることから竪穴住居内の炉址の可能性が高い。

土壌内より火を受けた礫2個と壺の破片が出土した。弥生中期の遺構と考えられる。



第26図 SK-1・SX-1~5実測図

#### SX-6

O-41 グリッドにて検出した。

内部埋土は粘質土で炭化物や褐色土粒を含む。

東西端の掘り込みは柱穴の重複の可能性はあるが性格は不明である。

埋土、遺物からみて弥生中期の遺構と考えられる。

#### SX-7

O-41 グリッドにて検出した。

内部埋土はⅡ層にわかる。Ⅰ層は褐色土粒を含む粘質土で土器片や炭化物を含む。Ⅱ層は褐色土粒を少量含む粘質土で地山層に類似している。

SX-6、SX-8と形状が類似している。性格は不明。

出土遺物からみて弥生中期の遺構と考えられる。

#### SX-8

O-41 グリッドにて検出した。

内部埋土はⅡ層にわかる。Ⅰ層は褐色土粒を含む粘質土で土器片と炭化物を含む。Ⅱ層は地山層と類似している。

SX-6、SX-7と形状が類似している。東西端の柱穴状の位置にも共通性がある。性格は不明。

出土遺物からみて弥生時代中期の遺構と考えられる。

#### SX-9

N-45 グリッドにて検出した。

遺構の半分は調査区外にあり全体は不明である。遺構検出面のレベルは他の弥生時代の遺構と同様である。床面の起伏はピットの掘り込みなどによるものと考えられる。性格は不明である。

#### SX-10

N-45 グリッドにて検出した。

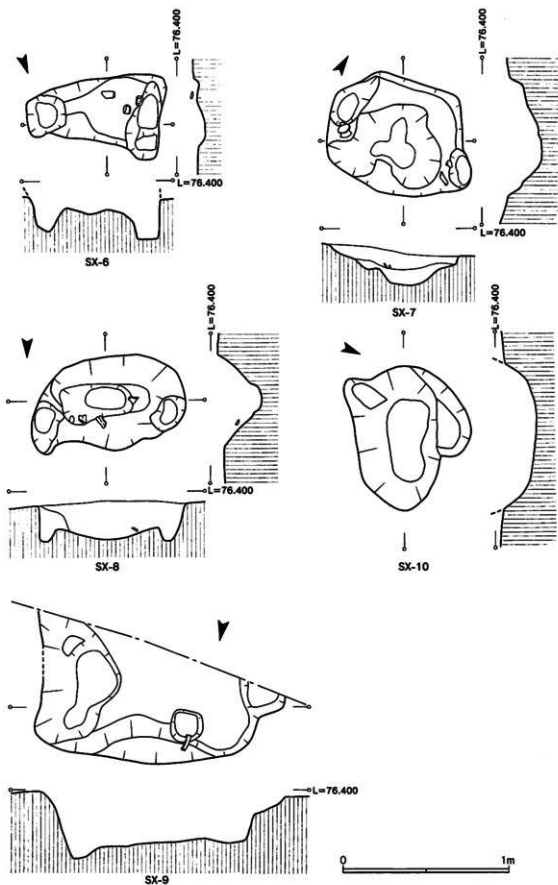
断面が半楕円形の土壇である。2基の土壇の切り合いとも考えられる。内部埋土中には弥生土器の破片、炭化物粒を含んでいる。性格は不明。

#### 溝

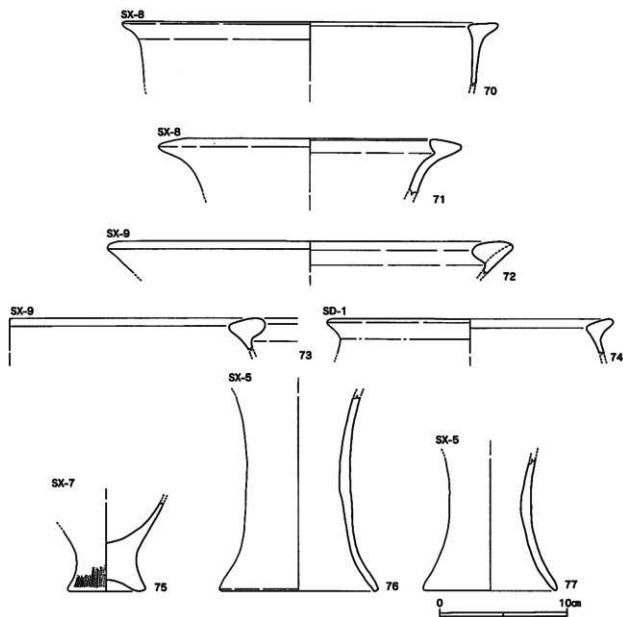
今年度調査では一条の溝を検出した。

#### SD-1

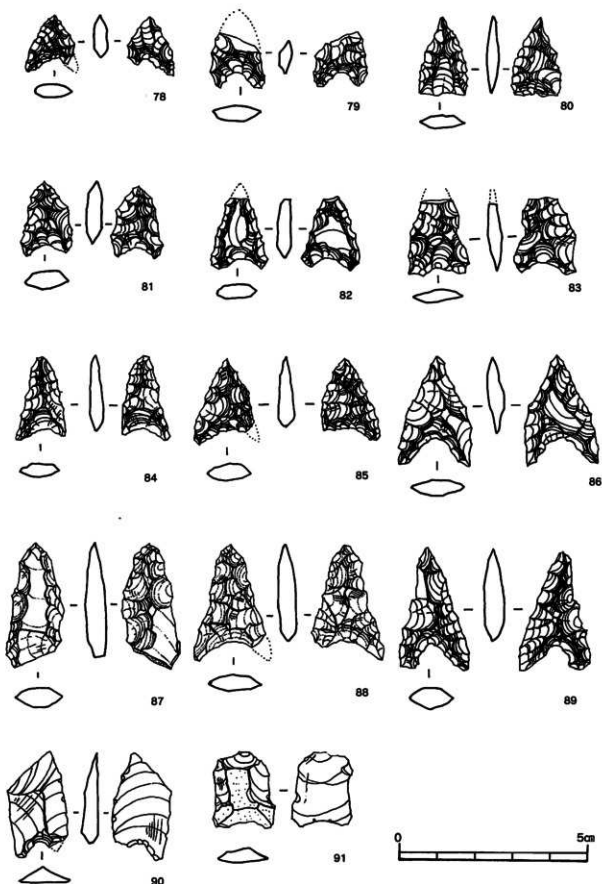
M-43、N-43 グリッドにて検出した。東西方向にのびる。近代の遺構と考えられる。



第 27 図 SX-6~10 実測図



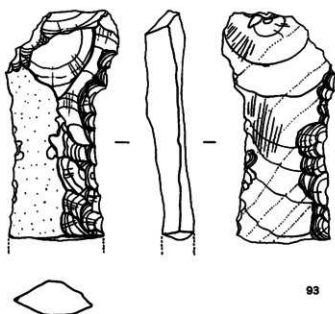
第 28 图 土壤出土土器実測図



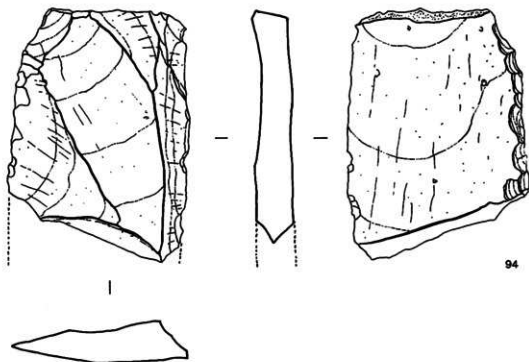
第 29 图 出土石器夹测图 (1) (S = 1/1)



92



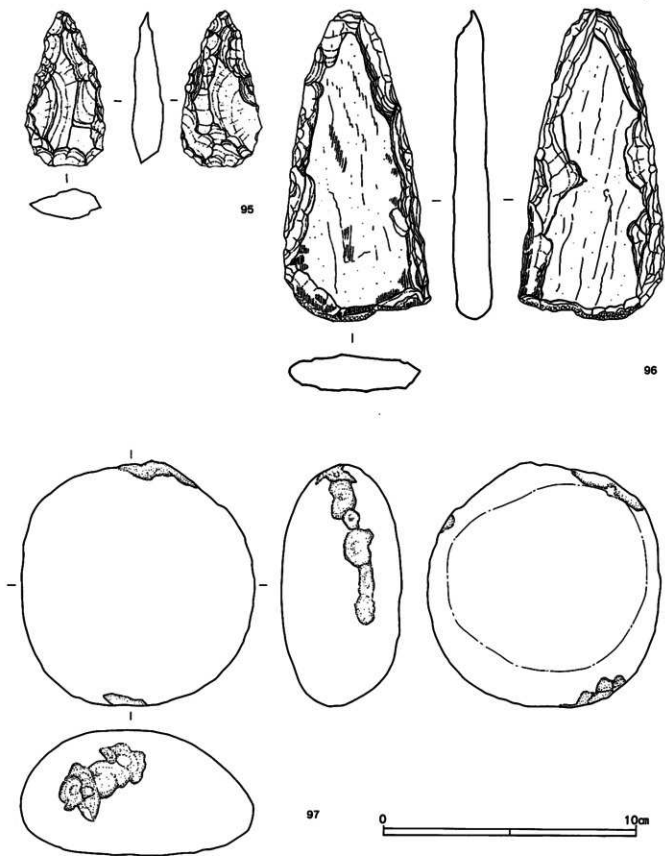
93



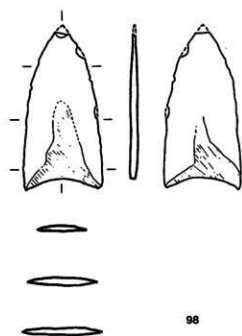
94



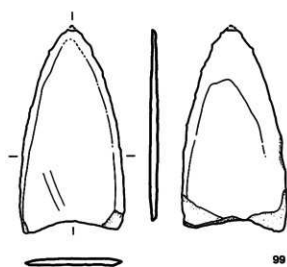
第30圖 出土石器実測圖(2) (S = 1/1)



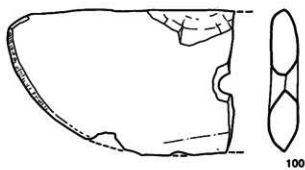
第 31 圖 出土石器実測圖 (3) (S = 2/3)



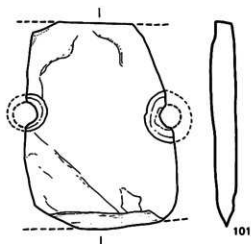
98



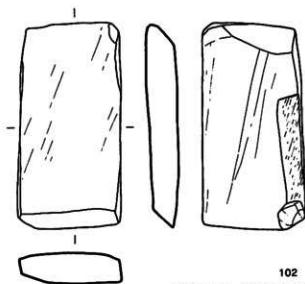
99



100



101



102

第 32 图 出土石器实测图 (4) (S = 1/1)



第2表 出土土器観察表

| 器物<br>No. | 遺構<br>番号 | 器形           | 法量 (cm)                                         | 胎土                          | 焼成         | 色調                  |                           | 特徴                                   | 調査技法             |        | 備考                   |
|-----------|----------|--------------|-------------------------------------------------|-----------------------------|------------|---------------------|---------------------------|--------------------------------------|------------------|--------|----------------------|
|           |          |              |                                                 |                             |            | 表                   | 内                         |                                      | 器表               | 内面     |                      |
| 1         | SH-1     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 4.2<br>口縁部径 : 径 21.0                      | 砂粒                          | 不良<br>(軟質) | 浅黄褐色<br>(10YR8/4)   | 浅黄褐色<br>(10YR8/4)         |                                      | (断面見れ)           | (断面見れ) | 口縁部<br>反転同化          |
| 2         | SH-1     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 2.3<br>口縁部径 : 径 21.6                      | 砂粒                          | 不良         | 灰青<br>(7.5YR5/2)    | 灰青<br>(7.5YR5/2)          |                                      | (断面見れ)           | (断面見れ) | 口縁部<br>反転同化          |
| 3         | SH-1     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 10.3<br>底面径 : 径 7.2                       | 砂粒 多                        | 不良         | 灰青<br>(2.5YR3/3)    | 黄褐色<br>(2.5YR3/3)         | 器表面に焼きむら。                            | (断面見れ)           | (断面見れ) | 底面                   |
| 4         | SH-1     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 6.3                                       | 砂粒                          | 普通         |                     |                           | 三角胎付痕跡。器表<br>に判る。                    | ナデ               | (断面見れ) | 器表<br>反転同化           |
| 5         | SH-2     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 2.2<br>口縁部径 : 径 26.3<br>底面径 : 径 23.2      | 砂粒 多                        | 普通         | 黒褐色<br>(10YR3/2)    | 黒褐色<br>(10YR3/2)          | 口縁部直下にへう状<br>工具痕。                    | (断面見れ)           | (断面見れ) | 口縁部<br>反転同化          |
| 6         | SH-2     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 4.3<br>底面径 : 径 8.0                        | 砂粒                          | 普通         |                     | 黄<br>(5YR7/6)             | 大管製。                                 | (断面見れ)           |        | 底面                   |
| 7         | SH-2     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 11.4<br>底面径 : 径 9.4                       | 3 ~ 4mm 小石 多                | 普通         | にぶい黄褐色<br>(10YR4/3) | 赤褐色<br>(10R5/6)           | 器底下半から上半に<br>かけての傾きが小さ<br>い。         | (断面見れ)           | (断面見れ) | 器底<br>反転一部合成同化       |
| 8         | SH-2     | 弥生<br>- 脚付鉢? | 残存高 : 5.5<br>底面径 : 径 27.0                       | 2mm 小石 多                    | 普通         | にぶい黄褐色<br>(10YR6/3) | にぶい黄<br>(7.5YR5/4)        | 破砕後に火を受けて<br>いる。                     | ハケ目              | (断面見れ) | 器底 1/4 前後<br>反転同化    |
| 9         | SH-3     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 4.4<br>口縁部径 : 径 29.0                      | 砂粒                          | 普通         | 黄<br>(2.5YR6/6)     | 黄<br>(2.5YR6/6)           |                                      | (断面見れ)           | (断面見れ) | 器底<br>口縁部<br>反転同化    |
| 10        | SH-3     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 12.0<br>底面径 : 径 6.3                       | 白色細砂粒                       | 普通         | 暗灰~黒<br>(5Y 3 ~ 2)  | 明赤褐色<br>(5YR5/6 ~<br>5/6) | 内面に使用による二<br>次的なコグ付着。                | (断面見れ)           | (断面見れ) | 底面                   |
| 11        | SH-3     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 10.7<br>底面径 : 径 10.4<br>最大脚部径 : 17.8      | 2 ~ 3mm 砂粒<br>内開石<br>金雲母片 黄 | 普通         | にぶい黄褐色<br>(10YR7/4) | にぶい黄褐色<br>(10YR6/3)       | 三角胎付痕跡。器底<br>にかけて器表が厚く<br>なる。器表面に判る。 | (断面見れ)           | (断面見れ) | 器底~脚部 1/2 前後<br>反転同化 |
| 12        | SH-5     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 2.4                                       | 砂粒                          | 普通         | 明赤褐色<br>(2.5YR5/6)  | 明赤褐色<br>(2.5YR5/6)        |                                      | (断面見れ)           | コグナデ   | 口縁部                  |
| 13        | SH-5     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 2.7<br>口縁部径 : 径 26.2<br>底面径 : 径 23.8      | 砂粒<br>金雲母片 黄                | 不良<br>(軟質) | にぶい黄<br>(7.5YR7/4)  | にぶい黄<br>(7.5YR7/4)        | 流盤式。                                 | (断面見れ)           | (断面見れ) | 口縁部<br>反転同化          |
| 14        | SH-6     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 9.4<br>口縁部径 : 径 28.8                      | 砂粒                          | 普通         | 暗赤褐色<br>(2.5YR3/3)  | 暗赤褐色<br>(2.5YR3/3)        | 二次焼成を授け表面<br>にスス付着。                  | (断面見れ)           | (断面見れ) | 口縁部 1/5 前後<br>反転同化   |
| 15        | SH-6     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 2.3<br>底面径 : 径 6.9                        | 砂粒<br>5mm 砂粒<br>金雲母片 黄      | 普通         | 黄<br>(2.5YR6/6)     | 黄<br>(2.5YR6/6)           |                                      | ハケ目              | (断面見れ) | 底面                   |
| 16        | SH-6     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 5.1 ~ 5.5<br>口縁部径 : 径 12.3<br>底面径 : 径 4.8 | 砂粒<br>金雲母片 黄                | 普通         | 明赤褐色<br>(5YR5/6)    | 明赤褐色<br>(5YR5/6)          |                                      | (断面見れ)<br>丁寧な仕上げ | (断面見れ) | 器底完形<br>1/2 前後       |
| 17        | SH-7     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 2.5<br>口縁部径 : 径 21.6<br>底面径 : 径 19.4      | 砂粒<br>灰石 黄                  | 普通         | にぶい黄<br>(5YR7/3)    | 赤褐色<br>(5YR5/3)           | ハケ状工具痕。                              | (断面見れ)           | (断面見れ) | 口縁部<br>反転同化          |
| 18        | SH-8     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 2.9<br>口縁部径 : 径 25.2<br>底面径 : 径 11.2      | 2mm 砂粒                      | 不良<br>(軟質) | 明黄褐色<br>(10YR7/6)   | 明黄褐色<br>(10YR7/6)         |                                      | (断面見れ)           | (断面見れ) | 口縁部<br>反転同化          |
| 19        | SH-8     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 7.5<br>底面径 : 径 7.0                        | 砂粒 多<br>金雲母片 黄              | 普通         | 灰青<br>(7.5YR4/2)    | 赤<br>(10R5/6)             |                                      | (断面見れ)           | (断面見れ) | 底面                   |
| 20        | SH-8     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 3.1<br>口縁部径 : 径 1.1                       | 砂粒                          | 不良<br>(軟質) | 黄<br>(5YR7/6)       | 浅黄褐色<br>(10YR8/4)         | 小管製?                                 | (断面見れ)           | (断面見れ) | 口縁部                  |
| 21        | SH-8     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 3.0<br>口縁部径 : 径 17.8<br>底面径 : 径 15.2      | 砂粒 少                        | 不良<br>(軟質) | にぶい黄褐色<br>(10YR7/4) | にぶい黄褐色<br>(10YR7/4)       | 流盤式。                                 | (断面見れ)           | (断面見れ) | 口縁部<br>反転同化          |
| 22        | SH-9     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 2.9<br>口縁部径 : 径 25.6<br>底面径 : 径 22.6      | 砂粒<br>内開石 黄                 | 不良<br>(軟質) | 黄褐色<br>(7.5YR6/4)   | 黄褐色<br>(7.5YR6/4)         | 流盤式。                                 | (断面見れ)           | (断面見れ) | 口縁部<br>反転同化          |
| 23        | SH-9     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 5.6<br>底面径 : 径 6.8                        | 砂粒<br>内開石 黄                 | 不良<br>(軟質) | 黄褐色<br>(2.5Y7/4)    | 黄褐色<br>(2.5Y7/4)          |                                      | (断面見れ)           | 器底へタ張り | 器底 1/2 前後            |

第2表 出土土器観察表

| 器物<br>No. | 遺跡<br>番号 | 器形             | 法量 (cm)                                                              | 胎土                        | 焼成              | 色調                                         |                                            | 特徴                   | 調査技法   |             | 備考                   |
|-----------|----------|----------------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------|-----------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|----------------------|--------|-------------|----------------------|
|           |          |                |                                                                      |                           |                 | 表                                          | 内                                          |                      | 露法     | 内照          |                      |
| 24        | SH-9     | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>底厚 : 5.7<br>: 8.2                                             | 砂粒                        | 普通              | にぶい・赤褐色<br>(5YR5/3)                        | 灰白～赤褐色<br>(5YR4/2～<br>2.5YR5/5)            | 露法に2次焼成の痕<br>が付き。    |        |             | 底部<br>反転焼成           |
| 25        | SH-13    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 6.2<br>: 32.9                                           | 砂粒<br>金雲母片 微              | 普通              | にぶい・黄<br>(7.5YR7/4)                        | 黄<br>(7.5YR7/6)                            |                      | ヨコナテ   | (照光)        | 口縁部<br>反転焼成          |
| 26        | SH-13    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 2.8<br>: 30.0<br>底厚 : 26.8                              | 砂粒<br>内開石 微<br>金雲母片       | 普通              |                                            |                                            |                      | (照光)   | (照光)        | 口縁部 1/8 微焼<br>反転焼成   |
| 27        | SH-13    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 2.9<br>: 29.0<br>底厚 : 12.6                              | 砂粒                        | 良               | にぶい・黄褐色<br>(10YR7/4)                       | にぶい・黄褐色<br>(10YR7/4)                       | ハケ状工具痕               | ナテ     | ヨコナテ        | 口縁部 1/11 微焼<br>反転焼成  |
| 28        | SH-13    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 5.0<br>: 24.0                                           | 砂粒<br>金雲母片 微              | 普通              | 灰白～黄褐色<br>(2.5YR5/2)                       | 灰白～黄褐色<br>(2.5YR5/2)                       |                      | (照光)   | (照光)        | 口縁部 1/5 微焼<br>反転焼成   |
| 29        | SH-13    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 2.0<br>: 26.2                                           | 最大 3mm 砂粒<br>金雲母片         | 普通              | 浅黄褐色<br>(10YR8/4)                          | 浅黄褐色<br>(10YR8/4)                          |                      | (照光)   | (照光)        | 口縁部 1/10 微焼<br>反転焼成  |
| 30        | SH-13    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 4.9<br>: 19.4                                           | 砂粒<br>最大 6mm 小石 少         | 普通              | 灰白<br>(10YR2/2)                            | 灰白<br>(10YR2/2)                            | 露法に焼きむら              | (照光)   | (照光)        | 口縁部                  |
| 31        | SH-13    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>底厚 : 3.7<br>: 5.4                                             | 砂粒 少                      | 普通              | 暗黄灰<br>(2.5Y4/2)                           | 暗黄灰～黄<br>(2.5Y4/2～<br>2.5YR6/5)            | 焼きむらにより色調<br>は一定しない。 | (照光)   | (照光)        | 底部                   |
| 32        | SH-13    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>底厚 : 3.4<br>: 6.6                                             | 砂粒<br>内開石<br>金雲母片         | 普通              | 黄<br>(2.5YR6/5)                            | 黄<br>(2.5YR6/5)                            |                      | (照光)   | (照光)        | 底部                   |
| 33        | SH-14    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 34.0<br>: 29.8<br>底厚 : 26.0<br>最大 3mm 砂粒<br>金雲母片 : 27.8 | 2～3mm 砂粒<br>内開石<br>金雲母片   | 普通              | にぶい・黄～<br>にぶい・赤褐色<br>(7.5YR7/4～<br>5YR5/3) | にぶい・黄～<br>にぶい・赤褐色<br>(7.5YR7/4～<br>5YR5/3) |                      | (露光見れ) | (露光見れ)      | 脚欠失                  |
| 34        | SH-14    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 4.6<br>: 36.0                                           | 白色砂粒<br>金雲母片              | 普通              | にぶい・黄<br>(5YR7/3)                          | にぶい・黄<br>(7.5YR5/3)                        | 三角輪付突明。              | ヨコナテ   | ヨコナテ        | 口縁部 1/12 微焼<br>反転焼成  |
| 35        | SH-14    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 5.0<br>: 25.0<br>底厚 : 22.6                              | 砂粒多<br>金雲母片少              | 普通              | にぶい・黄<br>(7.5YR7/4)                        | にぶい・黄<br>(7.5YR5/3)                        | 頸部式。                 | (露光見れ) | (露光見れ)      | 口縁～底部 1/8 微<br>焼反転焼成 |
| 36        | SH-14    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 4.4<br>: 21.6                                           | 最大 3mm 砂粒 少<br>不良<br>(軟質) | 灰白<br>(2.5Y8/2) | 浅黄<br>(2.5Y8/4)                            |                                            | (露光見れ)               | (露光見れ) | 口縁部<br>反転焼成 |                      |
| 37        | SH-14    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>底厚 : 6.0<br>: 6.0                                             | 細砂粒 多                     | 普通              | 黄灰<br>(10YR4/1)                            | 黄灰<br>(10YR7/4)                            |                      | (露光見れ) | (露光見れ)      | 底部                   |
| 38        | SH-14    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>脚台厚 : 6.4<br>: 8.8                                            | 砂粒<br>金雲母片                | 普通              | 黄<br>(2.5YR6/5)                            | 黄<br>(2.5YR6/5)                            |                      | (露光見れ) | (露光見れ)      | 底部<br>脚台部反転焼成        |
| 39        | SH-14    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>底厚 : 3.6<br>: 7.8                                             | 細砂粒<br>金雲母片               | 普通              | 浅黄<br>(7.5YR8/4)                           | 浅黄<br>(7.5YR8/4)                           |                      | (照光)   | (照光)        | 底部 1/3 微<br>焼反転焼成    |
| 40        | SH-14    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 5.5<br>: 21.4                                           | 白色砂粒<br>金雲母片 微            | 普通              | にぶい・黄褐色<br>(10YR7/4)                       | 黄<br>(7.5YR7/4)                            | 内外面に丹彫。              | (照光)   | (照光)        | 口縁部<br>反転焼成          |
| 41        | SH-14    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 4.4<br>: 20.2                                           | 最大 3mm 砂粒                 | 普通              |                                            |                                            | 内外面に丹彫。              | ヨコハケ   | (露光見れ)      | 口縁部 1/7 微焼           |
| 42        | SH-14    | 弥生<br>- 甕<br>環 | 残存高<br>口縁厚 : 3.2<br>: 24.4                                           | 砂粒 少                      | 普通              | 赤<br>(10R5/5)                              | 赤<br>(10R5/5)                              | 内外面に丹彫。              | (照光)   | (照光)        | 口縁部 1/11 微焼<br>反転焼成  |
| 43        | SH-14    | 弥生<br>- 甕台     | 通高<br>口縁厚 : 16.5<br>: 12.4<br>中央部厚 : 7.3<br>底厚 : 13.0                | 3～4mm 砂粒 多                | 普通              |                                            |                                            | 底部はへう切り。             | (照光)   | (照光)        | 復元完成                 |
| 44        | SH-14    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>底厚 : 2.8<br>: 7.0                                             | 砂粒<br>金雲母片 微              | 普通              | にぶい・黄<br>(7.5YR7/4)                        | にぶい・黄<br>(7.5YR6/3)                        |                      | (露光見れ) | (露光見れ)      | 底部 1/4 微焼<br>反転焼成    |
| 45        | SH-14    | 弥生<br>- 甕型甕台   | 残存高<br>底厚 : 3.4<br>: 30.6                                            | 細砂粒                       | 普通              | にぶい・黄褐色<br>(10YR7/4)                       | にぶい・黄褐色<br>(10YR7/4)                       | 特異部台脚部破片。<br>内外面に丹彫。 | (照光)   | (照光)        | 底部<br>反転焼成           |
| 46        | SH-15    | 弥生<br>- 甕      | 残存高<br>口縁厚 : 3.5<br>: 25.6                                           | 砂粒                        | 不良<br>(軟質)      | にぶい・黄褐色<br>(10YR6/4)                       | 黄褐色<br>(10YR6/5)                           |                      | (照光)   | (照光)        | 口縁部<br>反転焼成          |

第2表 出土土器観察表

| 遺物<br>No. | 遺物<br>番号 | 形状           | 法量 (cm)                                  | 胎土                       | 焼成         | 色澤                    |                       | 特徴                   | 調査技法 |      | 備考                 |
|-----------|----------|--------------|------------------------------------------|--------------------------|------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|------|------|--------------------|
|           |          |              |                                          |                          |            | 表                     | 内                     |                      | 器表   | 器内   |                    |
| 47        | SH-15    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 2.3<br>口縁部径 : 径 25.8               | 砂粒 少                     | 普通         | にぶい・黄<br>(7.5YR7/3)   | にぶい・黄<br>(7.5YR7/3)   |                      | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 48        | SH-15    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 2.9<br>口縁部径 : 径 25.1               | 砂粒                       | 普通         | にぶい・黄<br>(10YR7/4)    | にぶい・黄<br>(10YR7/4)    | 器表にヘラキズ。             | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 49        | SH-15    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 3.6<br>口縁部径 : 18.4                 | 砂粒                       | 普通         | 浅黄<br>(2.5YR3/3)      | 浅黄<br>(2.5Y7/3)       |                      | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 50        | SH-15    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 7.3<br>口縁部径 : 径 23.6               | 砂粒 多                     | 不良         | にぶい・黄<br>(7.5YR5/4)   | 灰黒<br>(7.5YR3/1)      | 器表に磨削。               | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 51        | SH-15    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 3.0<br>底面径 : 6.2                   | 細砂粒                      | 不良<br>(軟質) | 浅黄<br>(10YR8/4)       | 浅黄<br>(10YR8/4)       |                      | (磨削) | (磨削) | 底部                 |
| 52        | SH-15    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 3.6<br>底面径 : 径 8.6                 | 細砂粒 少                    | 普通         | にぶい・黄<br>(10YR7/4)    | 黄<br>(5YR6/8)         |                      | ヘラ磨削 |      | 底部 1/5 磨削          |
| 53        | SH-17    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 3.0<br>口縁部径 : 3.0                  | 細砂粒                      | 不良         | にぶい・黄<br>(10YR7/3)    | にぶい・黄<br>(10YR7/3)    | 皿盤式。                 | (磨削) | (磨削) | 口縁部                |
| 54        | SH-17    | 弥生<br>- 高坏?  | 残存高 : 4.9<br>口縁部径 : 径 24.8               | 砂粒 少<br>金箔付              | 普通         | 黄<br>(5YR6/8)         | 黄<br>(5YR6/8)         |                      | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 55        | SH-18    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 1.5<br>口縁部径 : 径 23.2               | 砂粒<br>5mm 小石             | 不良         | 黄<br>(7.5YR7/6)       | 黄<br>(7.5YR7/6)       |                      | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 56        | SH-18    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 2.7<br>口縁部径 : 30.2                 | 細砂粒                      | 普通         | 黄<br>(7.5YR7/6)       |                       |                      | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 57        | SH-18    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 4.6<br>口縁部径 : 径 37.2               | 砂粒<br>金箔付 黄              | 普通         | 浅黄<br>(2.5Y7/3 ~ 6/3) | 浅黄<br>(2.5Y7/3 ~ 6/3) |                      | (磨削) | (磨削) | 口縁部 1/5 磨削<br>反転同化 |
| 58        | SH-18    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 4.5<br>口縁部径 : 径 25.0               | 砂粒<br>最大 5mm 小石<br>金箔付 黄 | 普通         | 浅黄<br>(10YR8/4)       | 浅黄<br>(10YR8/4)       | 器表が磨い。               | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 59        | SH-18    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 6.6<br>口縁部径 : 24.0                 | 砂粒<br>金箔付 黄              | 普通         | 黄<br>(2.5Y5/1)        | 浅黄<br>(10YR8/4)       | 器表が磨い。底部<br>平は程が小さく。 | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 60        | SH-18    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 11.2<br>底面径 : 8.0 ~ 8.4            | 2 ~ 3mm 砂粒<br>内陶石        | 普通         | にぶい・黄<br>(10YR8/3)    | 黄<br>(2.5YR7/6)       |                      | (磨削) | ハケ目  | 口縁部                |
| 61        | SH-18    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 3.6<br>底面径 : 7.6                   | 砂粒<br>最大 5mm 小石<br>金箔付 黄 | 普通         | 灰黒<br>(7.5YR5/2)      | 黄<br>(2.5YR6/6)       |                      | (磨削) | (磨削) | 底部                 |
| 62        | SH-18    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 4.7<br>底面径 : 6.4 ~ 6.6             | 砂粒<br>内陶石                | 普通         | 灰黒<br>(10YR3/1)       | 明赤<br>(2.5YR5/6)      | 底面径がへびつ。             | (磨削) | ナテ   | 底部                 |
| 63        | SH-18    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 5.2<br>底面径 : 7.2                   | 砂粒 黄                     | 普通         | 浅黄<br>(10YR8/4)       | 赤<br>(7.5R4/6)        | 内外面に丹。               | (磨削) | (磨削) | 底部                 |
| 64        | SH-19    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 5.9<br>底面径 : 5.6                   | 砂粒<br>内陶石<br>金箔付 黄       | 普通         | 浅黄<br>(10YR8/4)       | 浅黄<br>(10YR8/4)       | 平底。内外面に丹。            | (磨削) | (磨削) | 底部                 |
| 65        | SH-19    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 5.0<br>底面径 : 8.4                   | 2 ~ 3mm 砂粒 少             | 不良<br>(軟質) | 黄<br>(7.5Y2/1)        | 浅黄<br>(10YR8/4)       | 内面に炭化物の付。            | (磨削) | (磨削) | 底部                 |
| 66        | SH-19    | 弥生<br>- 高坏   | 残存高 : 7.3<br>口縁部径 : 径 23.6               | 砂粒<br>金箔付 黄              | 不良<br>(軟質) | 灰黒<br>(10YR5/2)       | にぶい・黄<br>(7.5YR6/4)   |                      | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 67        | SH-19    | 弥生<br>- 高坏   | 残存高 : 3.4<br>口縁部径 : 21.6                 | 砂粒<br>金箔付 黄              | 普通         | にぶい・黄<br>(5YR7/4)     | にぶい・黄<br>(5YR7/4)     |                      | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 68        | SH-19    | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 10.7<br>最大口縁部径 : 15.4<br>底面径 : 6.6 | 砂粒 少                     | 普通         | 浅黄<br>(2.5YR7/3)      | 黄<br>(10YR2/1)        |                      | (磨削) | ナテ   | 口縁部 1/2 磨削<br>反転同化 |
| 69        | SH-19    | 弥生<br>- 餅付甕? | 残存高 : 4.2<br>底面径 : 径 12.4                | 砂粒<br>最大 4mm 小石<br>内陶石   | 普通         | 黄<br>(2.5YR6/8)       | 黄<br>(5YR6/8)         |                      | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 70        | SX-8     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 4.7<br>口縁部径 : 径 29.4               | 砂粒<br>金箔付 黄              | 不良         | にぶい・黄<br>(10YR7/4)    | にぶい・黄<br>(10YR7/4)    |                      | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |
| 71        | SX-8     | 弥生<br>- 甕    | 残存高 : 4.3<br>口縁部径 : 径 23.6               | 砂粒<br>金箔付 黄              | 不良         | 浅黄<br>(7.5YR8/4)      | 浅黄<br>(7.5YR8/4)      |                      | (磨削) | (磨削) | 口縁部<br>反転同化        |

第2表 出土土器観察表

| 器物No. | 遺跡番号 | 器形        | 法量 (cm)                    | 胎土                     | 焼成         | 色調                 |                    | 特徴        | 調査技法   |        | 備考                      |
|-------|------|-----------|----------------------------|------------------------|------------|--------------------|--------------------|-----------|--------|--------|-------------------------|
|       |      |           |                            |                        |            | 表                  | 内                  |           | 器表     | 器内     |                         |
| 72    | SX-9 | 弥生<br>- 甕 | 残存高 : 2.5<br>口縁部径 : 径 31.8 | 砂粒 多                   | 不良         | 黄<br>(SYR5/6)      | 黄<br>(SYR5/6)      |           | (磨耗)   | (磨耗)   | 口縁部<br>反転開化             |
| 73    | SX-9 | 弥生<br>- 甕 | 残存高 : 2.5<br>口縁部径 : 径 40.0 | 細砂粒                    | 不良         | にぶい黄<br>(7.SYR7/4) | にぶい黄<br>(7.SYR7/4) |           | (磨耗)   | (磨耗)   | 口縁部 1/16 微損             |
| 74    | SD-1 | 弥生<br>- 甕 | 残存高 : 2.7<br>口縁部径 : 径 22.4 | 細砂粒 少                  | 不良         | にぶい黄<br>(10YR7/4)  | にぶい黄<br>(10YR7/4)  |           | (磨耗)   | (磨耗)   | 口縁部<br>反転開化             |
| 75    | SX-7 | 弥生<br>- 甕 | 残存高 : 6.9<br>底径 : 6.1      | 砂粒<br>内河石 黄            | 不良         | 黄<br>(SYR4/1)      | にぶい黄<br>(SYR7/4)   |           | ハケ目    | (磨耗)   | 脚部                      |
| 76    | SX-5 | 弥生<br>- 甕 | 残存高 : 15.2<br>底径 : 径 12.4  | 最大 4cm 小石<br>砂粒<br>黄母煉 | 普通         | にぶい黄<br>(7.SYR7/4) | にぶい黄<br>(7.SYR7/4) | 底部にヘラ切り痕。 | (磨耗)   | (磨耗)   | 口縁部欠失<br>反転開化           |
| 77    | SX-5 | 弥生<br>- 甕 | 残存高 : 10.4<br>底径 : 径 10.4  | 細砂粒                    | 不良<br>(軟質) | 黄<br>(SYR7/6)      | 黄<br>(SYR7/6)      |           | (磨耗度A) | (磨耗度A) | 上部 1/3<br>口縁部欠失<br>反転開化 |

第3表 出土土器観察表

| 器物No. | 遺跡番号          | 器形 | 計測値            |        |              | 材質    | 特徴             |
|-------|---------------|----|----------------|--------|--------------|-------|----------------|
|       |               |    | 長さ (cm)        | 幅 (cm) | 厚さ (cm)      |       |                |
| 78    | SH-1          | 石皿 | 長さ (cm) : 1.1  | 黄      | 幅 (cm) : 1.2 | 黒曜石   | 基部一部欠損。        |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.2   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.4  |        |              |       |                |
| 79    | SH12          | 石皿 | 長さ (cm) : 1.5～ | 黄      | 幅 (cm) : 1.4 | 黒曜石   | 先端部欠損。         |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.4   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.4  |        |              |       |                |
| 80    | SX-5          | 石皿 | 長さ (cm) : 2.1  | 黄      | 幅 (cm) : 1.3 | 黒曜石   | 先端部、側面欠損。      |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.3   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.3  |        |              |       |                |
| 81    | 調査区一括         | 石皿 | 長さ (cm) : 1.7  | 黄      | 幅 (cm) : 1.4 | 黒曜石   |                |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.4   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.5  |        |              |       |                |
| 82    | 調査区一括         | 石皿 | 長さ (cm) : 1.6～ | 黄      | 幅 (cm) : 1.5 | 黒曜石   | 先端部欠損。         |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.5   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.4  |        |              |       |                |
| 83    | 調査区一括         | 石皿 | 長さ (cm) : 1.8～ | 黄      | 幅 (cm) : 1.6 | 黒曜石   | 先端部欠損。         |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.6   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.4  |        |              |       |                |
| 84    | 調査区一括         | 石皿 | 長さ (cm) : 2.0  | 黄      | 幅 (cm) : 1.3 | 頁岩    |                |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.3   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.4  |        |              |       |                |
| 85    | M-41-92<br>上層 | 石皿 | 長さ (cm) : 1.9  | 黄      | 幅 (cm) : 1.6 | 黒曜石   | 基部一部欠損。        |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.6   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.5  |        |              |       |                |
| 86    | 調査区一括         | 石皿 | 長さ (cm) : 2.2  | 黄      | 幅 (cm) : 1.8 | 頁岩    | 完形品。           |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.8   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.4  |        |              |       |                |
| 87    | SH-14         | 石皿 | 長さ (cm) : 3.0～ | 黄      | 幅 (cm) : 1.4 | サヌカイト | 基部に自然面を残す。完形品。 |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.4   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.5  |        |              |       |                |
| 88    | SH-20         | 石皿 | 長さ (cm) : 2.6  | 黄      | 幅 (cm) : 1.8 | 頁岩    | 基部一部欠損。        |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.8   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.5  |        |              |       |                |
| 89    | SH-15         | 石皿 | 長さ (cm) : 2.5  | 黄      | 幅 (cm) : 1.6 |       | 完形品。           |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.6   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.6  |        |              |       |                |
| 90    | M-42-82<br>上層 | 石皿 | 長さ (cm) : 2.4  | 黄      | 幅 (cm) : 1.5 | 黒曜石   | 基部一部欠損。        |
|       |               |    | 幅 (cm) : 1.5   |        |              |       |                |
|       |               |    | 厚さ (cm) : 0.4  |        |              |       |                |

第3表 出土土器観察表

| 遺物 No. | 遺物番号          | 器種      | 計測値             | 材質          | 特徴                                                                                        |
|--------|---------------|---------|-----------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 91     | M-43-12       | 石皿?     | 長さ (cm) : 1.8   | 黒曜石         |                                                                                           |
|        |               |         | 幅 (cm) : 1.6    |             |                                                                                           |
|        |               |         | 厚さ (cm) : 0.4   |             |                                                                                           |
| 92     | SH-6          | 剥片石器・石刀 | 長さ (cm) : 5.1 ~ | 黒曜石         | 上部欠損。刃部に細かな刃こぼれあり。                                                                        |
|        |               |         | 幅 (cm) : 1.8    |             |                                                                                           |
|        |               |         | 厚さ (cm) : 0.5   |             |                                                                                           |
| 93     | SH-6          | 剥片石器・石刀 | 長さ (cm) : 6.0 ~ | 黒曜石         | 片面風化面あり。                                                                                  |
|        |               |         | 幅 (cm) : 2.7    |             |                                                                                           |
|        |               |         | 厚さ (cm) : 0.9   |             |                                                                                           |
| 94     | SH-13         | 削器      | 長さ (cm) : 6.2 ~ | ヤヌカイト       | 下部欠損。両面に細かな刃部あり。                                                                          |
|        |               |         | 幅 (cm) : 4.8    |             |                                                                                           |
|        |               |         | 厚さ (cm) : 1.1   |             |                                                                                           |
| 95     | M-93-54<br>中層 | 小型打製石器  | 長さ (cm) : 6.1   | 頁岩          | 完形品。                                                                                      |
|        |               |         | 幅 (cm) : 3.1    |             |                                                                                           |
| 96     | SH-1          | 扁平打製石器  | 長さ (cm) : 12.2  | 黒曜石         |                                                                                           |
|        |               |         | 幅 (cm) : 5.6    |             |                                                                                           |
|        |               |         | 厚さ (cm) : 1.6   |             |                                                                                           |
| 97     | SH-6          | 磨石      | 長さ (cm) : 9.6   | 安山岩系        | スリ石としての使用は一面のみ。他2面は叩石として使用している。<br>発生中層の住居内出土品で、他に縄文期の魚土品が含まれていない事から住居址と同<br>時期のものと考えられる。 |
|        |               |         | 幅 (cm) : 9.3    |             |                                                                                           |
|        |               |         | 厚さ (cm) : 5.0   |             |                                                                                           |
| 98     | SH-14         | 磨製石器    | 長さ (cm) : 3.8 ~ | 頁岩          | 先端と側面片側の刃部欠損。<br>シノギ、縁部は明確でない。削め方向の磨痕が残る。                                                 |
|        |               |         | 幅 (cm) : 2.0    |             |                                                                                           |
|        |               |         | 厚さ (cm) : 0.2   |             |                                                                                           |
| 99     | SH-1          | 磨製石器    | 長さ (cm) : 5.1   |             | やや風化が進み、加工痕は両面にわずかにシノギの磨痕を残すのみ。                                                           |
|        |               |         | 幅 (cm) : 2.7    |             |                                                                                           |
|        |               |         | 厚さ (cm) : 0.2   |             |                                                                                           |
| 100    | 調査区一組         | 石瓶丁     | 長さ (cm) : 3.8   |             | 1/2 欠損。                                                                                   |
|        |               |         | 幅 (cm) : 5.9 ~  |             |                                                                                           |
|        |               |         | 厚さ (cm) : 0.8   |             |                                                                                           |
| 101    | SH-2          | 石瓶丁     | 長さ (cm) : 5.4   | 磨製岩 (緑泥片岩)  | 両端の欠損品と考えられるが、磨製後に再利用しているか?                                                               |
|        |               |         | 幅 (cm) : 4.0    |             |                                                                                           |
|        |               |         | 厚さ (cm) : 0.7   |             |                                                                                           |
| 102    | SH-3          | 扁平片石刀   | 長さ (cm) : 5.4   | 硬質粘板岩 (頁岩?) | 部分的にわずかに欠損する。<br>真一箇の斜行する条痕は削ぎの方向と考えられる。                                                  |
|        |               |         | 幅 (cm) : 2.6    |             |                                                                                           |
|        |               |         | 厚さ (cm) : 0.8   |             |                                                                                           |

## 第5章 まとめ

### 遺物

土器は黒変式土器が大部分を占めるが城の越式土器も出土している。今年度調査区から出土した土器の多くが小破片であったため可能な限り図上復元を行った。また、胎土が非常にもろく、器表面が荒れているために調整痕を観察することはできなかった。器種では甕が最も多く、その他に壺、鉢、器台、高坏、筒型器台が出土した。筒型器台が出土したSH-14は他の住居址に比べ多量の土器を出土したが、緩やかな傾斜の落ち際に位置するために出土品の中に外部からの流れ込みを多く含むと考えられる。筒型器台は裾部の破片1点が出土したのみで、他に接合資料が出土していないことを考えると流れ込みである可能性が高い。天神免遺跡を含め周辺からは甕棺や木棺墓、土壇墓を多数検出し、墓域が広範囲にわたって広がっていることが確認されている。筒型器台はそれらの墓域に関連した祭祀の際に使用されたのだろうか。また丹彩の壺と高坏が数点出土したが、これらも筒型器台と同様に祭祀用の土器であり外部からの流れ込みと考えられる。

石器は一括資料ではあるが打製石鏃を多く出土した。また剥片石器、削器、打製石斧が出土した。これらは縄文後期に位置付けられる。その他に弥生期の石器として磨製石鏃、石庖丁、磨石、扁平片刃石斧、砥石が出土した。砥石の表面には鉄粉の付着がわずかにみられ、鉄器を研磨していた可能性が高い。しかし天神免遺跡からは今年度調査を含めて鉄製品の出土例はなく今後の調査が期待される。

### 遺構

天神免遺跡の今年度調査区からは住居址を全20基検出した。SH-2以外は他の住居址または調査区境に切られているため平面プランの全体を確認することはできなかった。SH-2が弥生後期に位置付けられるほかは弥生中期後半頃に位置付けられる。住居址は竪穴住居址に限られる。いずれの住居内にベッド状遺構は確認されなかった。また主柱穴も確認できなかった。

今年度調査区の住居址の特徴として床面に硬化面を数層もつものが多い。顕著なものはSH-8である。SH-8は前回調査区に切られていたために床の断面が観察可能であった。観察の結果、同住居址内に数層の硬化面を持つことが確認できた。そのため地山面まで掘り下げてすべての硬化面を検出した結果、全6層の硬化面があることがわかった。それぞれの硬化面は貼り床が踏み固められたもので、それぞれが生活面であったと考えられる。硬化面間からの遺物の出土はほとんどなく貼り替えの時間差はわからない。しかし、SH-8はSH-9に切られるが出土遺物に時期差はみられない。このためSH-8の床面の貼り替えは短期間で繰り返し行われた可能性が高い。

今年度調査区は平成10年度調査区に隣接する地点であったが両者の様相は異なっている。今年度調査区では複数の住居址を検出したのに対して、平成10年度調査区では木棺墓、甕棺墓を多く検出した。また昭和52年度の園場整備事業にともなう天神免遺跡の調査でも弥生前期から後期の木棺墓や甕棺墓を50基以上検出し、東西約130m、南北200mに及ぶ広範囲の墓域が確認されている。このことから今年度調査区で検出した住居址群は、周辺の墓域に埋葬されている人々の生活の跡と考えることができる。しかし広範囲に広がる墓域を考えると、今回検出した住居址群はその一部にすぎず、墓域と同様に広範囲にわたって住居址群が広がる可能性もある。また、今年度調査区で出土した外部からの流れ込みと考えられる丹彩の壺、高坏と筒型器台の存在は遺跡周辺で何らかの祭祀が行なわれていたことを想定させる。葬られる死者を弔う儀式が行なわれていたのだろうか。今後の調査では住居址の範囲と祭祀場の確定が期待される。

## 写 真 图 版



図版 1



調査区遠景（東より）



調査区全景（上が北）

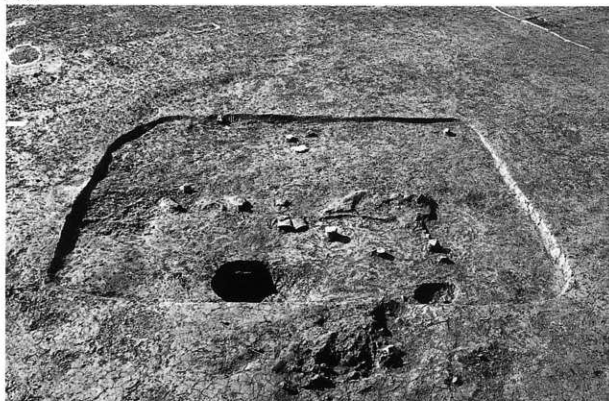


調査区中央部（上が北）



調査区西部（上が北）

図版3



SH-2 (東より)



SH-1 (北より)



石包丁出土状況



SH-3・4 (北より)



砥石出土状況

図版4



SH-5 (東より)



SH-6 (東より)



小石群出土状況

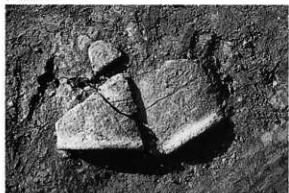


作業風景

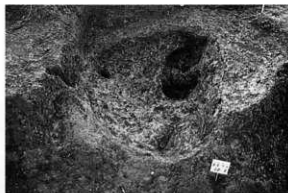


SH-14 遺物出土状況

図版5



土器出土状況



SK-1 (東より)



SX-1 (東より)



SX-2 (北より)



SX-5 (西より)



SX-6 (北より)

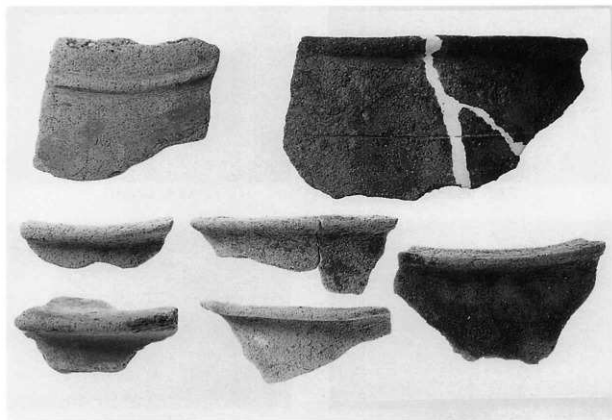
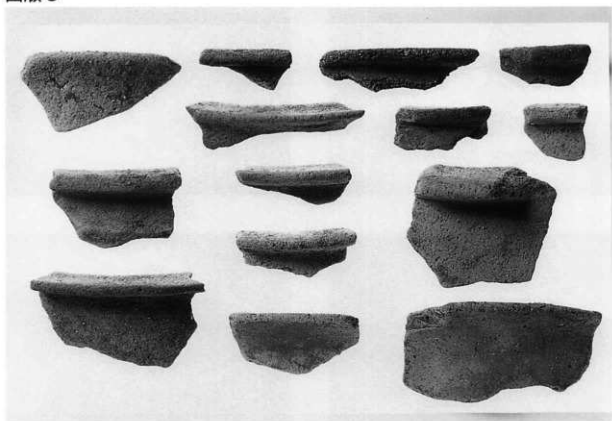


SX-7 (北より)

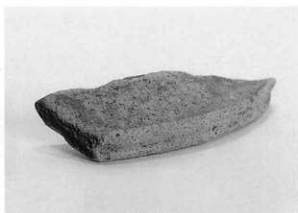


SX-8 (北より)

图版6

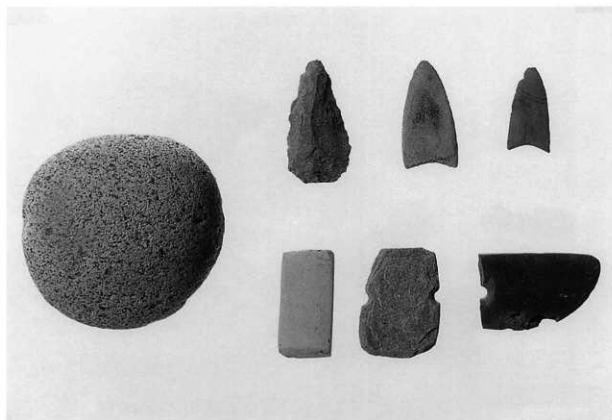


图版 7



筒型器台

图版8



# 報告書抄録

|       |                                                               |            |              |                           |      |                  |
|-------|---------------------------------------------------------------|------------|--------------|---------------------------|------|------------------|
| ふりがな  | てんじんめんいせき                                                     |            |              |                           |      |                  |
| 書名    | 天神免遺跡                                                         |            |              |                           |      |                  |
| 副書名   | 平成 14 年度熊本地区広域営農団地農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告                        |            |              |                           |      |                  |
| 巻次    |                                                               |            |              |                           |      |                  |
| シリーズ名 | 鹿央町文化財発掘調査報告書                                                 |            |              |                           |      |                  |
| シリーズ号 |                                                               |            |              |                           |      |                  |
| 編著者名  | 村田 勉                                                          |            |              |                           |      |                  |
| 編集機関  | 鹿央町教育委員会                                                      |            |              |                           |      |                  |
| 所在地   | 〒 861-0564 熊本県鹿本郡鹿央町大字広 230 TEL.0968-36-2183 FAX.0968-36-3622 |            |              |                           |      |                  |
| 発行年月日 | 2004 年 3 月 31 日                                               |            |              |                           |      |                  |
| 所収遺跡名 | 所在地                                                           | 北緯         | 東経           | 調査期間                      | 調査面積 | 調査原因             |
| 天神免遺跡 | 熊本県鹿本郡<br>鹿央町広                                                | 32° 58' 2" | 130° 40' 59" | 20020106<br>～<br>20020307 | 724㎡ | 農団地農道整備事<br>業に伴う |

| 所収遺跡  | 種別  | 主な時代        | 主な遺構  | 主な遺物                  |
|-------|-----|-------------|-------|-----------------------|
| 天神免遺跡 | 集落址 | 弥生時代中期後半～後期 | 竪穴住居址 | 弥生土器 筒型器台<br>石廬丁 磨製石鏃 |

鹿央町文化財発掘調査報告書

## 天神免遺跡

---

平成 16 年 3 月 31 日

編集 鹿央町教育委員会  
発行

〒 861-0564 熊本県鹿本郡鹿央町大字広 230

印刷 株式会社 秀巧社

〒 861-2234 熊本県上益城郡益城町古閑 106

---

文化財調査報告の電子書籍の末尾に挿入する奥付

この電子書籍は、『鹿央町文化財発掘調査報告書 天神免遺跡』を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

なお、平成 17 年(2005)に山鹿市、鹿北町、菊鹿町、鹿本町、鹿央町が合併し山鹿市となりました。調査記録及び出土遺物は、山鹿市教育委員会が保管しています。

書名:鹿央町文化財発掘調査報告書 天神免遺跡

発行:山鹿市教育委員会

〒861-0592 熊本県山鹿市山鹿 987 番 3

電話: 0968-43-1651

URL:<https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日:2025 年 7 月 9 日